

厚木市人口ビジョンに基づく

地区別の将来人口推計

平成 29 年 3 月

厚 木 市

【地区別の将来人口推計 目次】

1	目的	1
2	活用方法	1
3	対象地区	1
4	推計方法	2
5	推計期間	4
6	指標の設定方法	4
7	将来展望における地区別人口推計の推計結果	7
8	将来展望における推計結果の厚木市の特徴	10
9	将来展望における推計結果の各地区の特徴	12

1 目的

平成 28 年 3 月に策定した「厚木市人口ビジョン(以下「人口ビジョン」という。)」に基づき、本市における地区別の将来人口や年齢構成を推計することにより、将来にわたって活力あるまちであり続けるための基礎資料として作成するものです。

2 活用方法

本資料は、次期の総合計画や都市マスタープランを始め、総合計画を補完・具体化するための個別計画の策定等のほか、地域における公共施設の最適化や土地利用などの検討に活用します。

3 対象地区

地域住民の皆様の生活圏をまとめている自治会区域を基本に、町丁目を次の 15 の地区に分類し、対象地区として設定します。

表 対象地区

	地区名	町丁目
1	厚木北	松枝 1 ~ 2 丁目、元町、東町、寿町 1 ~ 3 丁目、 水引 1 ~ 2 丁目、厚木町、中町 1 ~ 4 丁目、栄町 1 ~ 2 丁目、 田村町、厚木、吾妻町
2	厚木南	幸町、泉町、旭町 1 ~ 5 丁目、南町
3	依知北	上依知、猿ヶ島、山際、下川入
4	依知南	関口、中依知、下依知(下依知 1 ~ 3 丁目を含む。)、金田
5	睦合北	棚沢、三田南 1 ~ 3 丁目、三田
6	睦合南	妻田南 1 ~ 2 丁目、妻田東 1 ~ 3 丁目、妻田西 1 ~ 3 丁目、 妻田北 1 ~ 4 丁目
7	睦合西	及川 1 ~ 2 丁目、及川、林 1 ~ 5 丁目、王子 1 丁目
8	荻野	みはる野 1 ~ 2 丁目、まつかげ台、上荻野、中荻野、下荻野、 鳶尾 1 ~ 5 丁目
9	小鮎	飯山、上古沢、下古沢、宮の里 1 ~ 4 丁目
10	玉川	七沢、小野、岡津古久
11	南毛利	戸室 1 ~ 5 丁目、恩名 1 ~ 5 丁目、恩名、愛名、 温水西 1 ~ 2 丁目、温水、長谷、毛利台 1 ~ 3 丁目
12	相川	岡田 1 ~ 5 丁目、岡田、酒井、戸田、下津古久、上落合、長沼
13	緑ヶ丘	王子 2 ~ 3 丁目、緑ヶ丘 1 ~ 5 丁目
14	南毛利南	船子、愛甲(愛甲 1 ~ 4 丁目、愛甲東 1 ~ 3 丁目及び 愛甲西 1 ~ 3 丁目を含む。)
15	森の里	森の里若宮、森の里青山、森の里 1 ~ 5 丁目

図 対象地区



4 推計方法

地区別の将来人口の推計に当たっては、平成 27 (2015) 年の国勢調査結果の人口を基準人口とし、国立社会保障・人口問題研究所 (以下「社人研」という。) の推計方法と同様に、コーホート要因法を用いて実施します。

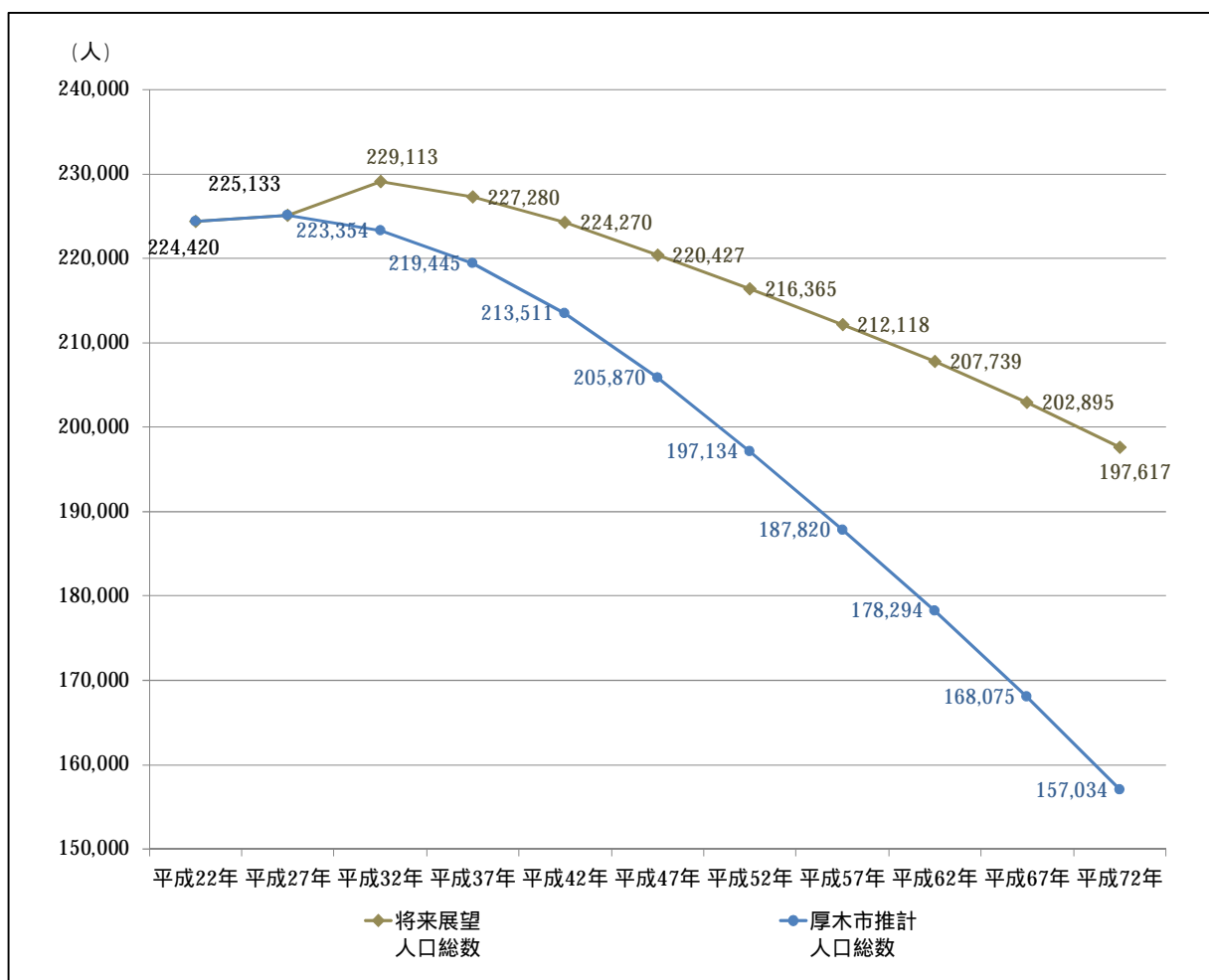
コーホート要因法では、次の 4 つの指標について数値を設定する必要があることから、「6 指標の設定」で指標の考え方について整理します。

0 ~ 4 歳性比	0 ~ 4 歳人口について、女性の数に対する男性の数の比を女性の数を 100 とした指数で表したもの
生残率	5 年後の男女 5 歳階級別生存率
子ども女性比	15 ~ 49 歳女性人口に対する 0 ~ 4 歳人口の比
純移動率	ある地域の純移動数の前年人口に対する割合 純移動数：生残率を適用して前年人口に対する翌年の理論上の人口 (封鎖人口) を求め、実際人口と封鎖人口の差分

また、人口ビジョンでは、国が示した将来人口に基づいた厚木市推計（人口対策を講じなかった場合の将来人口）と人口に関する目標値を設定し推計した将来展望（人口対策を講じた場合の目標人口）を位置付けていますが、地区別の将来人口については、将来展望における推計を実施するものとします。

厚木市推計	社人研の「日本の地域別将来推計人口（平成25年3月推計）」を基準に、平成27年の推計値を実数値に置き換えて推計したもの。人口対策を講じない場合の推計
将来展望	厚木市推計を基準に、合計特殊出生率、20歳代の移動率、本市の総合計画における人口目標に見込んでいる開発インパクトの目標値を設定して推計したもの。人口対策を講じた場合の推計

図 人口ビジョンにおける厚木市推計と将来展望の比較



5 推計期間

地区別の人口推計は、推計の対象区域が小さくなると基準人口も小さくなるため、推計期間が長くなるほど推計の精度が落ちてしまうことから、平成 27 年を基準年とし、20 年後の平成 47（2035）年までを推計期間とします。

6 指標の設定

(1) 0～4 歳性比、生残率

0～4 歳性比	0～4 歳人口について、女性の数に対する男性の数の比を女性の数を 100 とした指数で表したもの
生残率	5 年後の男女 5 歳階級別生存率

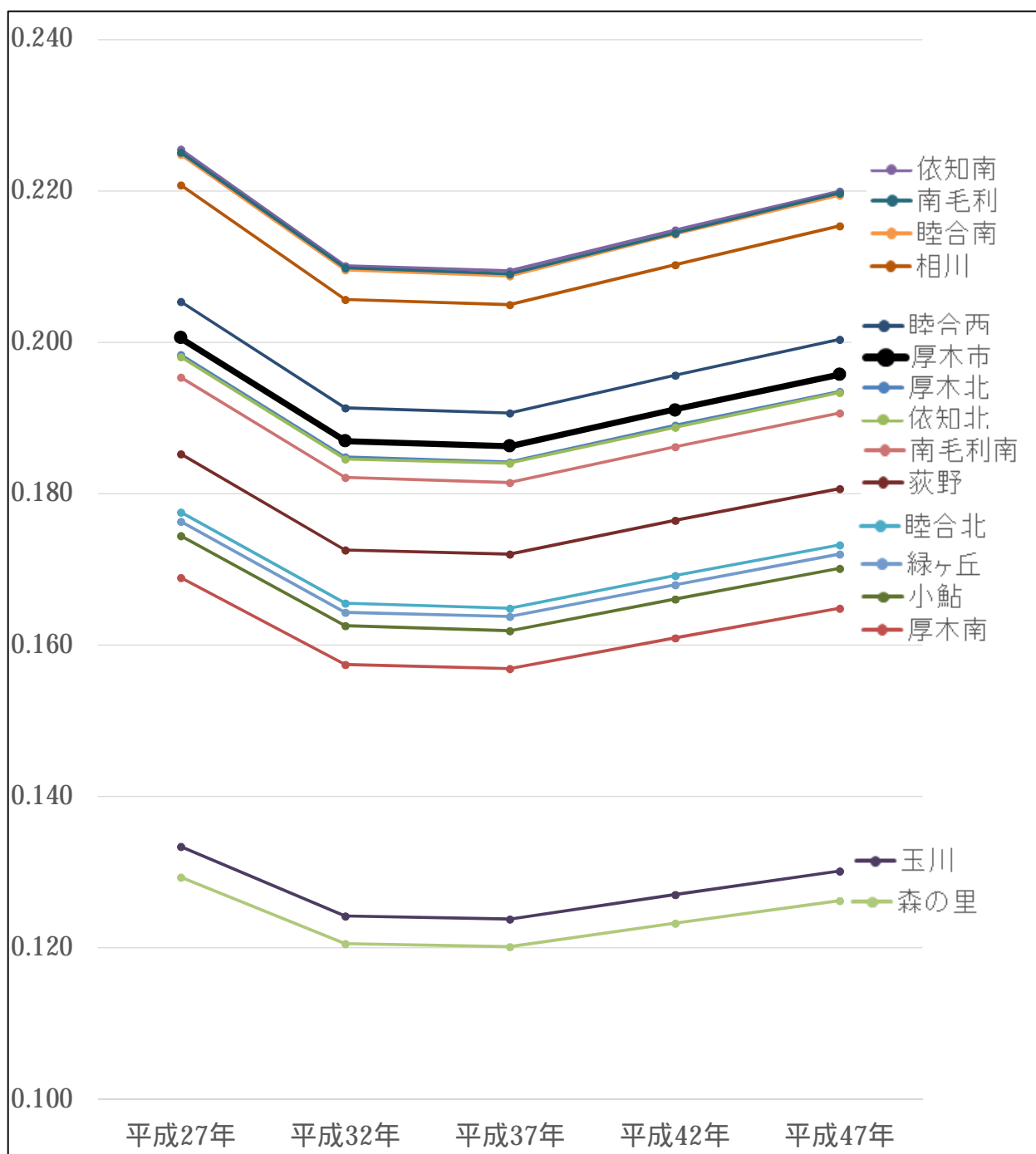
地区別の 0～4 歳性比や生残率は、地区ごとの特徴が表れにくいことから、社人研が設定している厚木市の推計結果を使用するものとします。

(2) 子ども女性比

子ども女性比 15～49歳女性人口に対する0～4歳人口の比

地区別の子ども女性比は、社人研が設定している厚木市の推計結果と同様に推移すると仮定して設定します。

図 地区別の子ども女性比

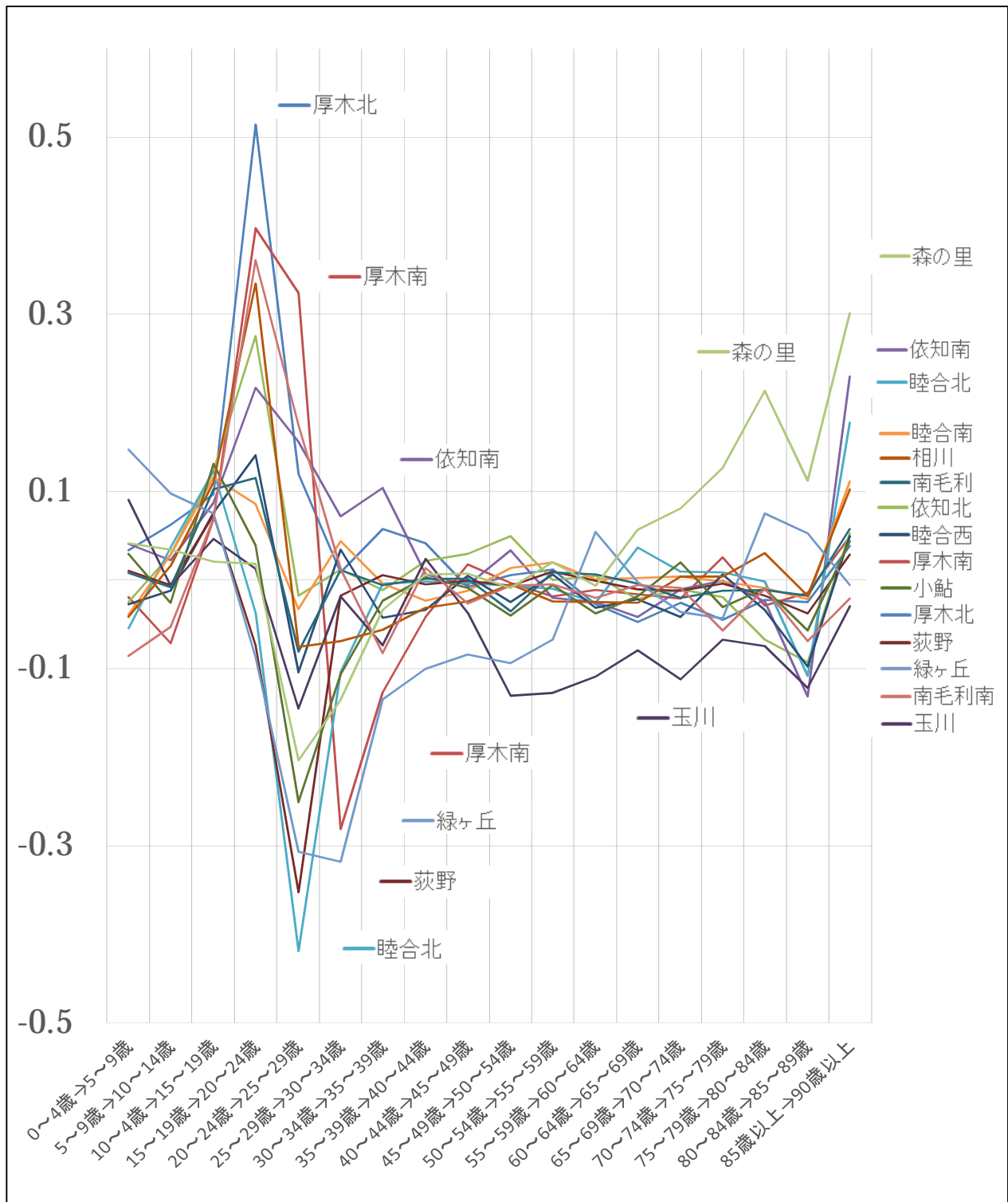


(3) 純移動率

純移動率 ある地域の純移動数の前年人口に対する割合

地区別の純移動率は、社人研の推計方法を踏まえ、平成 22 年から 27 年までの純移動率を基準に、平成 27 年から 32 年までは縮小させ、平成 32 年以降はその数値が継続すると仮定します。

図 地区別の純移動率



7 将来展望における地区別人口推計の推計結果

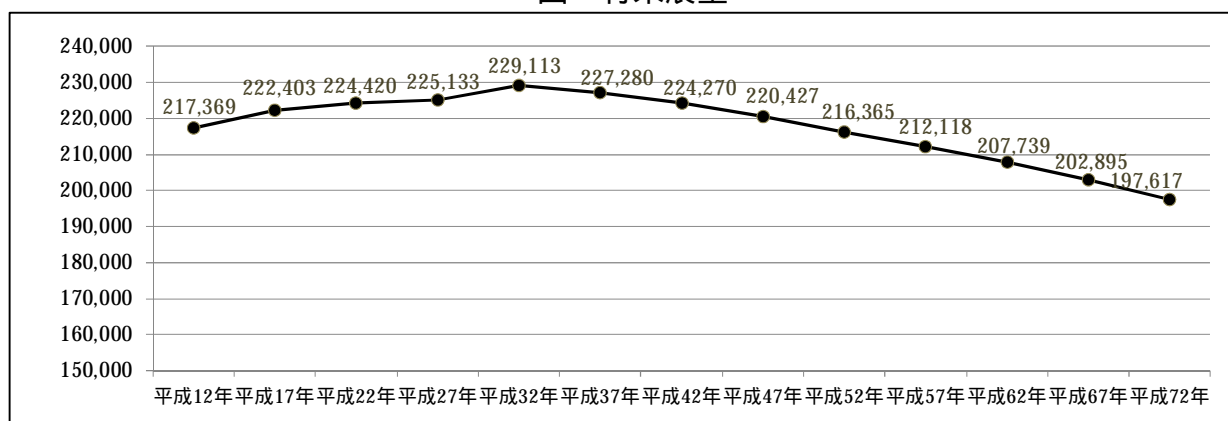
(小数点以下を四捨五入表記しているため、整数の合計が一致しない場合がある。)

(1) 将来展望

表 将来展望の目標値

自然増減	合計特殊出生率を平成 32 年に 1.42 (神奈川県希望出生率)、平成 42 年に 1.71 (本市希望出生率)、平成 52 年に 2.00、平成 57 年以降 2.07 とする。
社会増減	次の 2 つの目標を設定する。 ▶ 現在、マイナスになっている 20 歳代の人口移動率を平成 32 年以降収束させ、平成 42 年以降はゼロにするとする。 ▶ 開発インパクトの移動数として、平成 32 年に 4,517 人増加するとする。

図 将来展望



平成 27 年の人口は、平成 27 年 1 月の神奈川県年齢別人口統計調査の人口

(2) 地区別人口推計

表 将来展望における地区別人口総数の推移

地域	国勢調査				推計人口			
	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年
厚木北	17,592	19,532	20,723	22,877	24,997	26,610	28,271	29,975
厚木南	10,996	10,756	11,075	11,050	11,552	11,342	11,117	10,891
依知北	18,136	18,305	17,972	17,745	17,685	17,245	16,641	15,913
依知南	12,119	12,565	12,440	12,745	13,069	13,131	13,137	13,106
睦合北	10,399	10,856	10,953	10,649	10,452	10,062	9,612	9,128
睦合南	19,766	19,822	19,621	19,830	20,062	19,899	19,614	19,239
睦合西	8,814	9,662	10,041	10,023	10,058	9,912	9,715	9,484
荻野	24,884	26,312	27,610	27,148	26,437	25,676	24,574	23,358
小鮎	15,746	15,974	15,590	14,749	14,285	13,492	12,599	11,608
玉川	4,319	4,222	4,041	3,864	3,707	3,473	3,235	2,988
南毛利	35,994	36,773	37,681	39,075	40,792	41,305	41,688	41,950
相川	14,399	14,056	13,989	13,999	14,080	13,915	13,669	13,357
緑ヶ丘	6,139	5,528	4,905	4,406	4,162	3,781	3,399	3,042
南毛利南	10,698	10,737	10,972	11,118	11,449	11,337	11,153	10,930
森の里	7,368	7,303	6,807	6,436	6,326	6,100	5,845	5,457
合計	217,369	222,403	224,420	225,714	229,113	227,280	224,270	220,427

平成 27 年の人口は、平成 27 年 10 月の国勢調査の人口

図 将来展望における地区別人口総数の推移

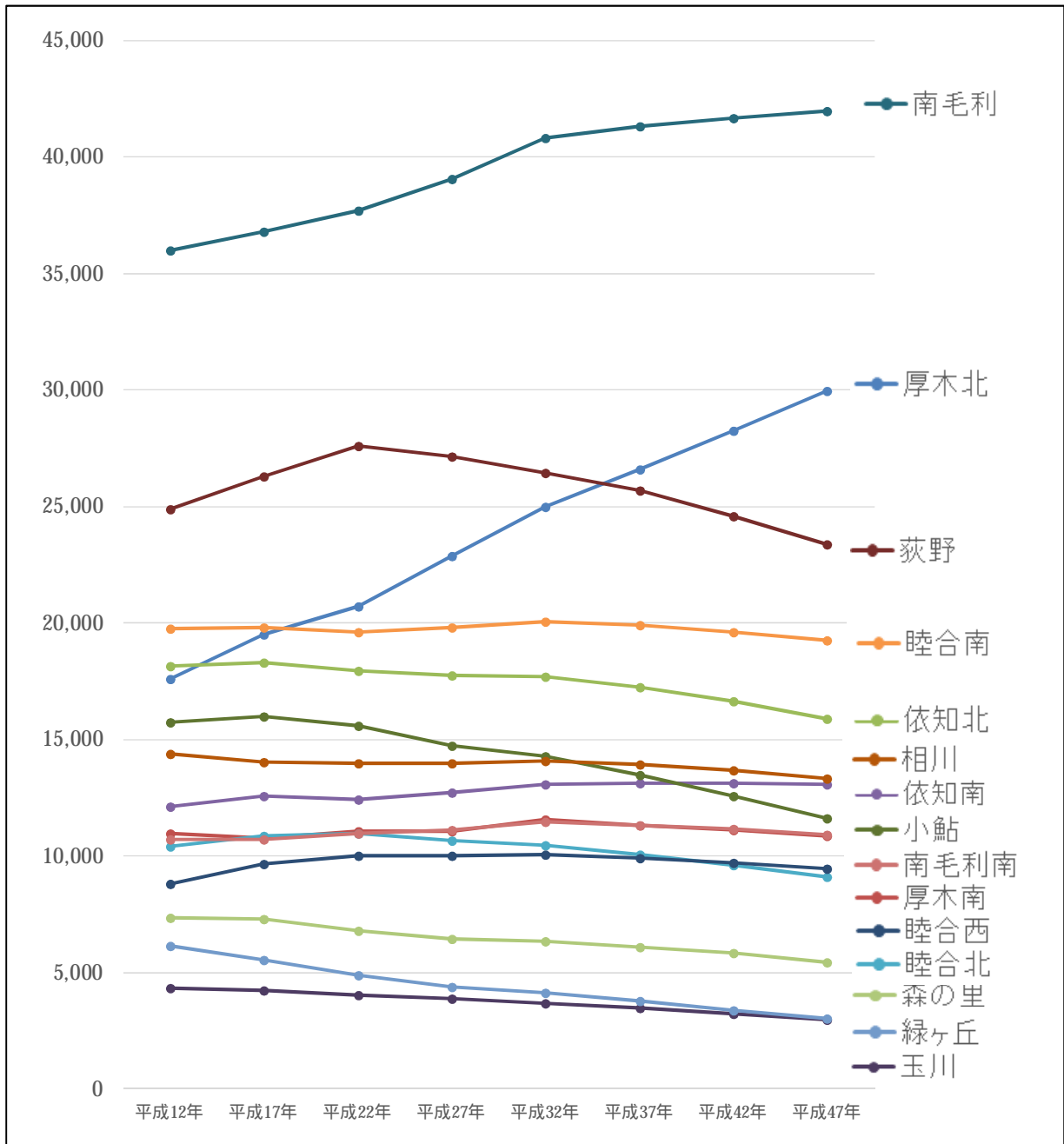


図 将来展望における平成 27 年と平成 47 年の比較

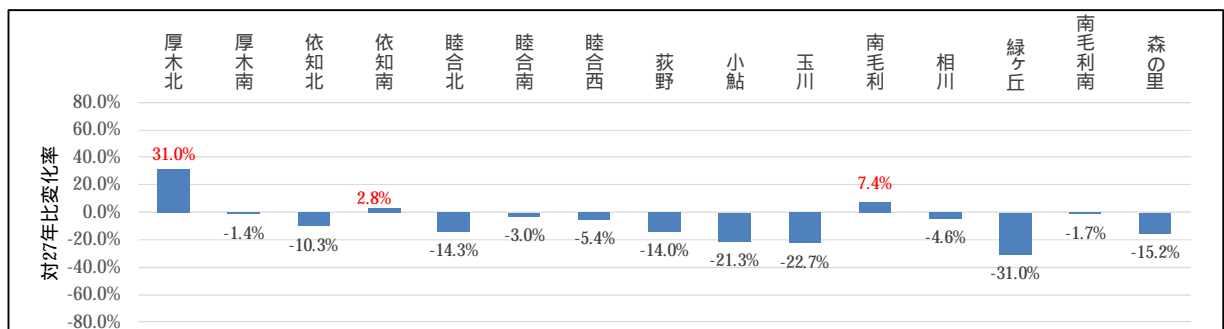


表 将来展望における地区別人口の年齢3区分の比較

地域	平成27年							平成47年								
	人口総数	順位	年少人口		生産年齢人口		老年人口	人口総数	順位	年少人口		生産年齢人口		老年人口		
			人数	順位	人数	割合				人数	割合	人数	順位		人数	割合
			割合		割合					割合		割合				
							対平成27年比									
厚木北	22,877	3	2,909	7	15,815	4,153	15	29,975	2	3,876	6	19,544	6,555	15		
			12.7%		69.1%	18.2%		31.0%	1	12.9%		65.2%	21.9%			
厚木南	11,050	10	1,053	15	7,530	2,467	9	10,891	10	1,034	12	6,715	3,142	8		
			9.5%		68.1%	22.3%		-1.4%	4	9.5%		61.7%	28.8%			
依知北	17,745	5	2,199	8	11,401	4,145	7	15,913	5	1,817	8	9,099	4,997	5		
			12.4%		64.2%	23.4%		-10.3%	9	11.4%		57.2%	31.4%			
依知南	12,745	8	1,803	3	8,168	2,774	12	13,106	7	2,000	1	7,869	3,237	14		
			14.1%		64.1%	21.8%		2.8%	3	15.3%		60.0%	24.7%			
睦合北	10,649	11	1,298	9	6,927	2,424	8	9,128	12	1,005	9	5,356	2,767	7		
			12.2%		65.0%	22.8%		-14.3%	11	11.0%		58.7%	30.3%			
睦合南	19,830	4	2,716	5	12,985	4,129	14	19,239	4	2,636	3	11,280	5,323	11		
			13.7%		65.5%	20.8%		-3.0%	6	13.7%		58.6%	27.7%			
睦合西	10,023	12	1,496	1	6,308	2,219	10	9,484	11	1,232	5	5,641	2,611	12		
			14.9%		62.9%	22.1%		-5.4%	8	13.0%		59.5%	27.5%			
荻野	27,148	2	3,878	2	16,277	6,993	5	23,358	3	2,566	10	13,600	7,192	6		
			14.3%		60.0%	25.8%		-14.0%	10	11.0%		58.2%	30.8%			
小鮎	14,749	6	1,597	11	9,211	3,941	4	11,608	8	1,065	13	6,219	4,324	4		
			10.8%		62.5%	26.7%		-21.3%	13	9.2%		53.6%	37.3%			
玉川	3,864	15	402	13	2,213	1,249	2	2,988	15	235	14	1,558	1,195	2		
			10.4%		57.3%	32.3%		-22.7%	14	7.9%		52.1%	40.0%			
南毛利	39,075	1	5,490	4	25,394	8,191	13	41,950	1	5,924	2	24,240	11,786	10		
			14.0%		65.0%	21.0%		7.4%	2	14.1%		57.8%	28.1%			
相川	13,999	7	1,851	6	9,067	3,081	11	13,357	6	1,779	4	7,777	3,801	9		
			13.2%		64.8%	22.0%		-4.6%	7	13.3%		58.2%	28.5%			
緑ヶ丘	4,406	14	470	12	2,474	1,462	1	3,042	14	377	7	1,480	1,185	3		
			10.7%		56.2%	33.2%		-31.0%	15	12.4%		48.7%	38.9%			
南毛利南	11,118	9	1,273	10	7,242	2,603	6	10,930	9	1,173	11	6,827	2,930	13		
			11.4%		65.1%	23.4%		-1.7%	5	10.7%		62.4%	26.8%			
森の里	6,436	13	627	14	3,971	1,838	3	5,457	13	312	15	1,905	3,240	1		
			9.7%		61.7%	28.6%		-15.2%	12	5.7%		34.9%	59.4%			
合計	225,714		29,064		144,963	51,687		220,427		27,031		129,111	64,285			
			12.9%		64.2%	22.9%		-2.3%				12.3%	58.6%		29.2%	

年少人口：0～14歳人口

生産年齢人口：15～64歳人口

老年人口：65歳以上人口

8 将来展望における推計結果の厚木市の特徴

(小数点以下を四捨五入表記しているため、整数の合計が一致しない場合がある。)

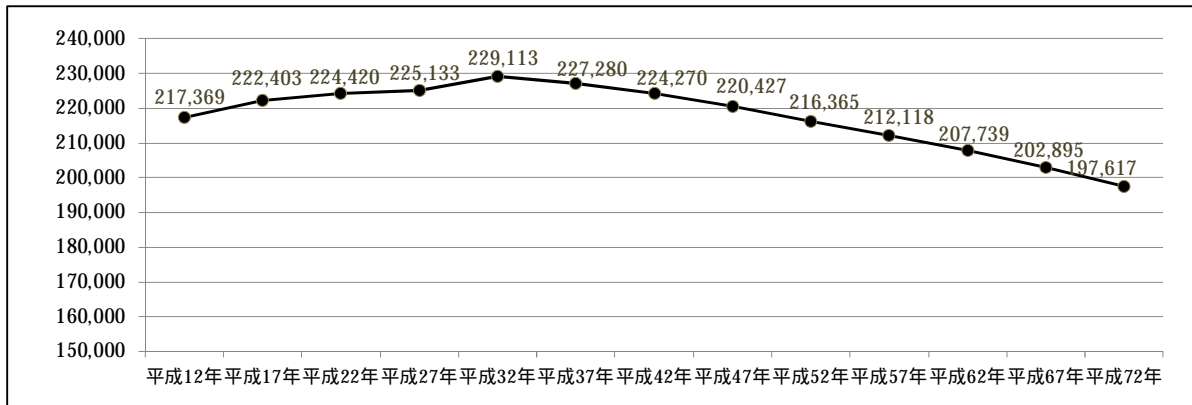
厚木市	H47 人口総数の対H27 年比： - 2.3% H47 年少人口割合の対H27 年差： - 0.6% H47 老年人口割合の対H27 年差： + 6.3%
	<p>ア 平成 27 年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 225,714 人となっている。 ➤ 年少人口割合は 12.9%となっている。 ➤ 老年人口割合は 22.9%となっている。 <p>イ 平成 47 年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 220,427 人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は 12.3%となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は 29.2%となることが見込まれる。 <p>ウ 平成 27 年と平成 47 年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は - 2.3%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は - 0.6 ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は + 6.3 ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における厚木市の年齢 3 区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

平成 27 年の人口は、平成 27 年 10 月の国勢調査の人口

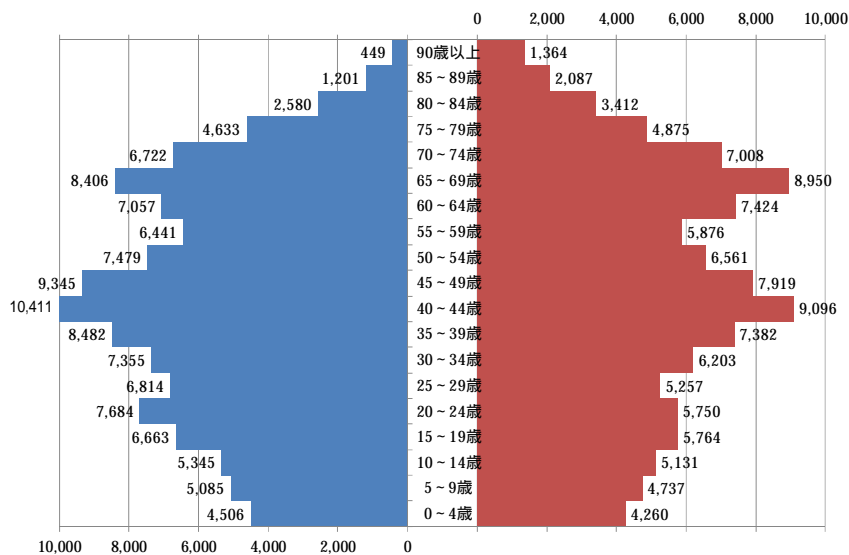
図 将来展望における厚木市の人口推計



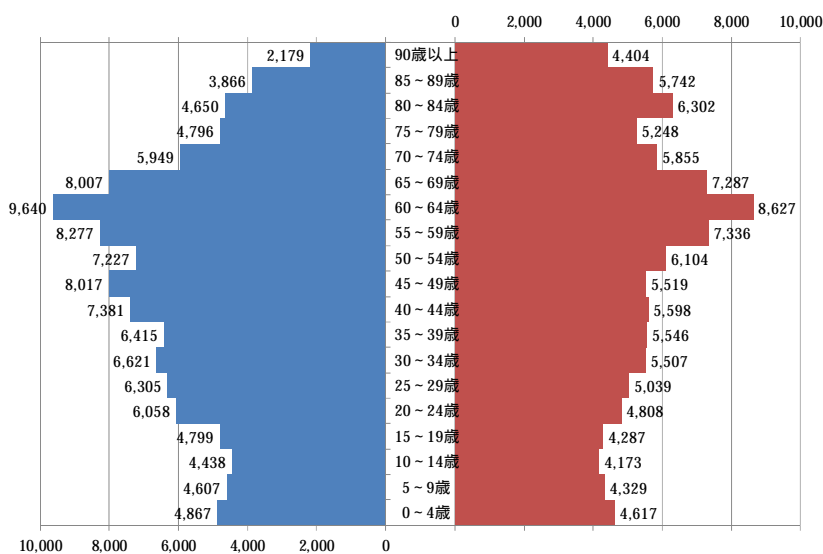
平成 27 年の人口は、平成 27 年 1 月の神奈川県年齢別人口統計調査の人口

図 将来展望における厚木市の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (225,714 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (220,427 人)



9 将来展望における推計結果の各地区の特徴

(小数点以下を四捨五入表記しているため、整数の合計が一致しない場合がある。)

(1) 厚木北地区

厚木北	人口総数は30%以上増加する。老年人口割合は平成27年と同様に最も低い(1/15位 1/15位)。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は22,877人で、15地区の中で3番目に多い地区となっている。 ➢ 年少人口割合は12.7%となっている。 ➢ 老年人口割合は15地区の中で最も低い18.2%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は29,975人で、15地区の中で2番目に多い順位に上昇することが見込まれる ➢ 年少人口割合は12.9%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合となるが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は21.9%となり、市全体と比較して、-7.3ポイントとなるが見込まれる。また、平成27年と同様に15地区の中で最も低くなるが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は+31.0%となり、15地区の中で最も大きい増加率となるが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は、おおむね同じ割合となるが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は、+3.7ポイントとなるが見込まれる。

表 将来展望における厚木北地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
厚木北	平成17年	19,532		2,396	12.3%	14,401	73.7%	2,735	14.0%
	平成22年	20,723		2,634	12.7%	14,723	71.0%	3,366	16.2%
	平成27年	22,877		2,909	12.7%	15,815	69.1%	4,153	18.2%
	順位								
	平成32年	24,997	9.3%	3,110	12.4%	17,147	68.6%	4,740	19.0%
	平成37年	26,610	116.3%	3,244	12.2%	18,227	68.5%	5,139	19.3%
	平成42年	28,271	23.6%	3,465	12.3%	19,096	67.5%	5,710	20.2%
	平成47年	29,975	31.0%	3,876	12.9%	19,544	65.2%	6,555	21.9%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における厚木北地区の人口推計

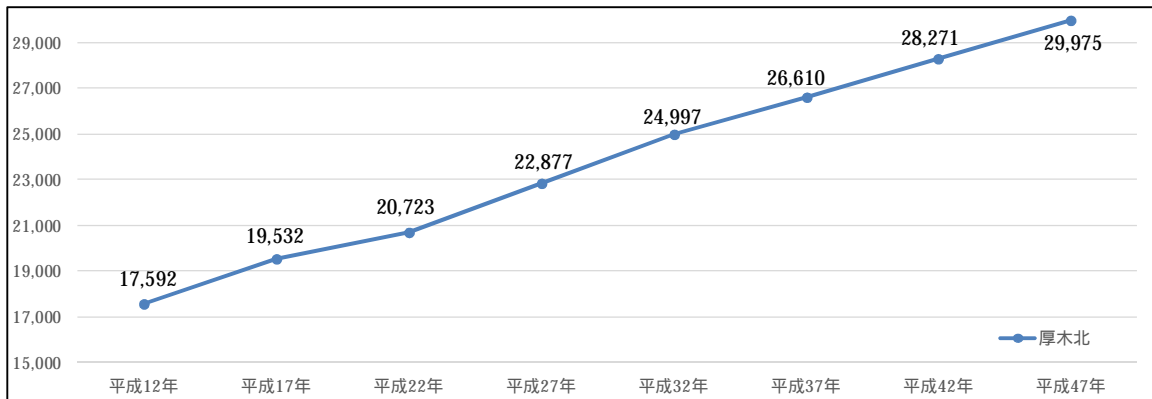
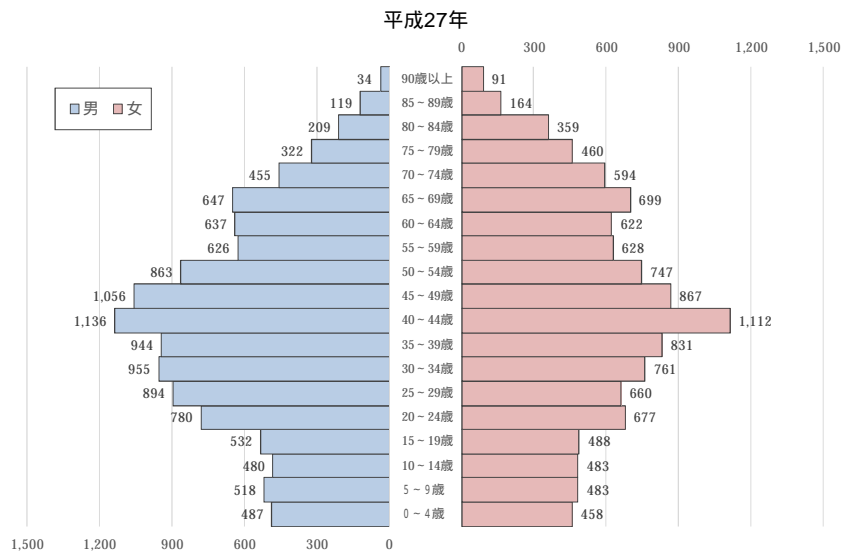
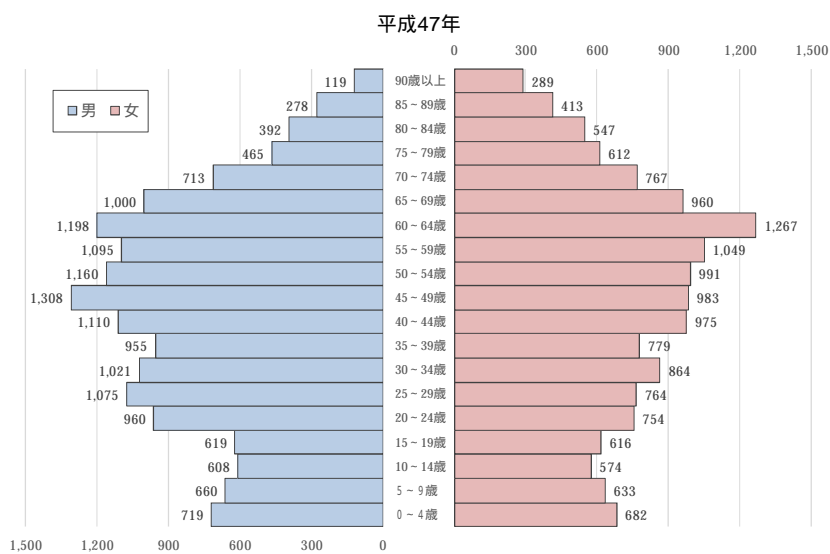


図 将来展望における厚木北地区の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (22,877 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (29,975 人)



(2) 厚木南地区

厚木南	年少人口割合は平成 27 年と同様に 10%未満と低い割合	
	ア 平成 27 年の人口	
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 11,050 人となっている。 ➤ 年少人口割合は 15 地区の中で最も低い 9.5%となっている。 ➤ 老年人口割合は 22.3%となっている。 	
	イ 平成 47 年の人口	
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 10,891 人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は 9.5%となり、市全体と比較して、- 2.8 ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は 28.8%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 	
	ウ 平成 27 年と平成 47 年の比較	
	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は - 1.4%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は同数値となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は + 6.5 ポイントとなることが見込まれる。 	

表 将来展望における厚木南地区の年齢 3 区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
厚木南	平成17年	10,756		1,131	10.5%	7,704	71.6%	1,920	17.9%
	平成22年	11,075		1,144	10.3%	7,797	70.4%	2,134	19.3%
	平成27年	11,050		1,053	9.5%	7,530	68.1%	2,467	22.3%
	順位								
	平成32年	11,552	4.5%	1,133	9.8%	7,824	67.7%	2,595	22.5%
	平成37年	11,342	2.6%	1,085	9.6%	7,525	66.3%	2,732	24.1%
	平成42年	11,117	0.6%	1,039	9.3%	7,149	64.3%	2,929	26.3%
	平成47年	10,891	-1.4%	1,034	9.5%	6,715	61.7%	3,142	28.8%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における厚木南地区の人口推計

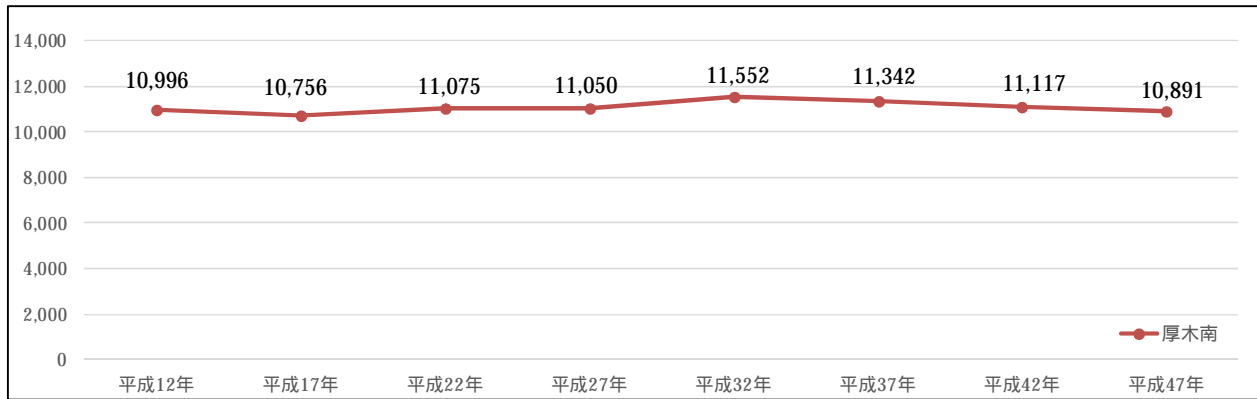
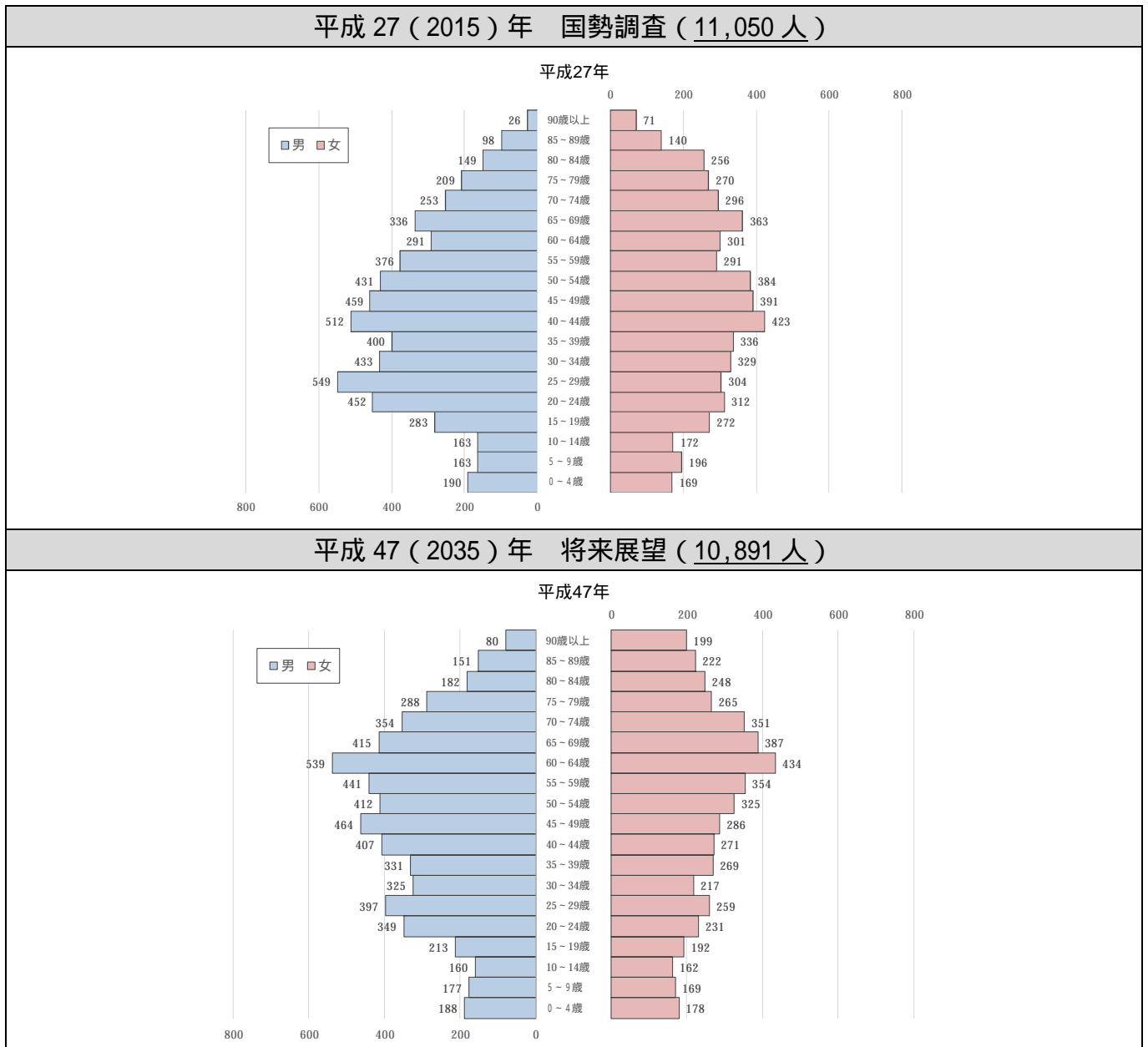


図 将来展望における厚木南地区の人口ピラミッド



(3) 依知北地区

依知北	人口総数は10%以上減少する。老年人口割合は30%を超える。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は17,745人となっている。 ➤ 年少人口割合は12.4%となっている。 ➤ 老年人口割合は23.4%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は15,913人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は11.4%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は31.4%となり、市全体と比較して、+2.2ポイントとなることが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は-10.3%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は-1.0ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+8.0ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における依知北地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
依知北	平成17年	18,305		2,645	14.4%	13,476	73.6%	2,184	11.9%
	平成22年	17,972		2,466	13.7%	12,424	69.1%	3,082	17.1%
	平成27年	17,745		2,199	12.4%	11,401	64.2%	4,145	23.4%
	順位								
	平成32年	17,685	-0.3%	2,025	11.5%	10,826	61.2%	4,834	27.3%
	平成37年	17,245	-2.8%	1,898	11.0%	10,400	60.3%	4,947	28.7%
	平成42年	16,641	-6.2%	1,813	10.9%	9,943	59.8%	4,885	29.4%
	平成47年	15,913	-10.3%	1,817	11.4%	9,099	57.2%	4,997	31.4%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における依知北地区の人口推計

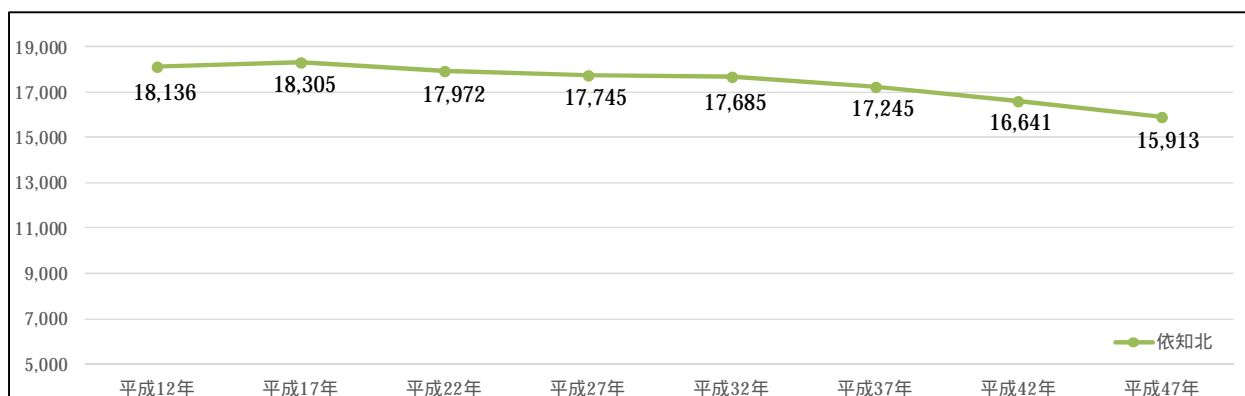
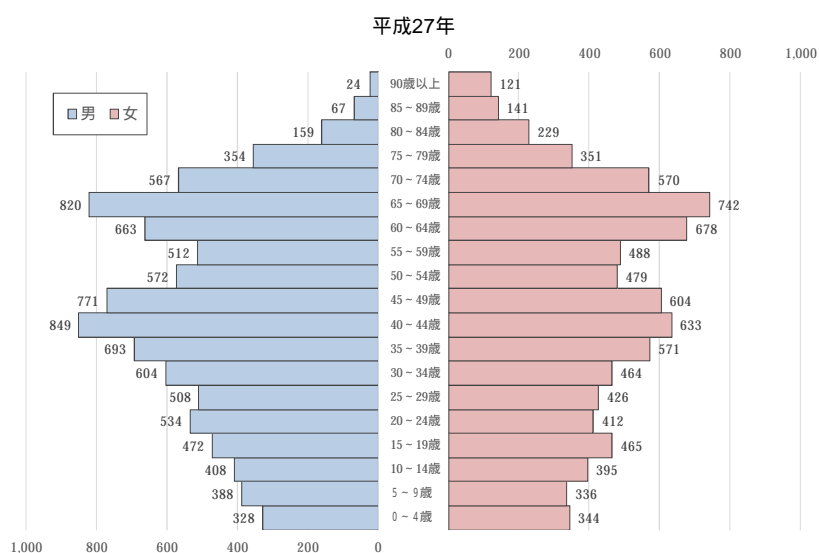
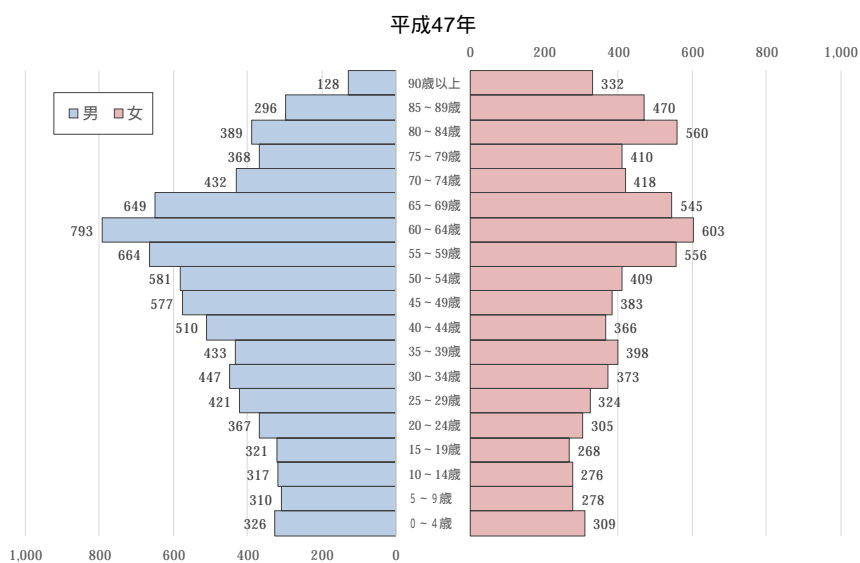


図 将来展望における依知北地区の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (17,745 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (15,913 人)



(4) 依知南地区

依知南	人口総数は増加する。年少人口割合は最も高い順位に上昇する（3/15位 1/15位）。老年人口割合は2番目に低い順位に下降する（12/15位 14/15位）。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は12,745人となっている。 ➢ 年少人口割合は15地区の中で3番目に高い14.1%となっている。 ➢ 老年人口割合は21.8%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は13,106人となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は15.3%となり、15地区の中で最も高い順位に上昇することが見込まれる。また、市全体と比較して、+3.0ポイントとなることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は24.7%となり、15地区の中で2番目に低い順位に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、-4.5ポイントとなることが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は+2.8%となり、15地区の中で3番目に大きい増加率となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は+1.2ポイントとなることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は+2.9ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における依知南地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
依知南	平成17年	12,565		1,815	14.4%	9,216	73.3%	1,534	12.2%
	平成22年	12,440		1,793	14.4%	8,540	68.6%	2,107	16.9%
	平成27年	12,745		1,803	14.1%	8,168	64.1%	2,774	21.8%
	順位								
	平成32年	13,069	2.5%	1,808	13.8%	8,080	61.8%	3,181	24.3%
	平成37年	13,131	3.0%	1,820	13.9%	8,061	61.4%	3,250	24.8%
	平成42年	13,137	3.1%	1,865	14.2%	8,107	61.7%	3,165	24.1%
	平成47年	13,106	2.8%	2,000	15.3%	7,869	60.0%	3,237	24.7%
順位									
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における依知南地区の人口推計

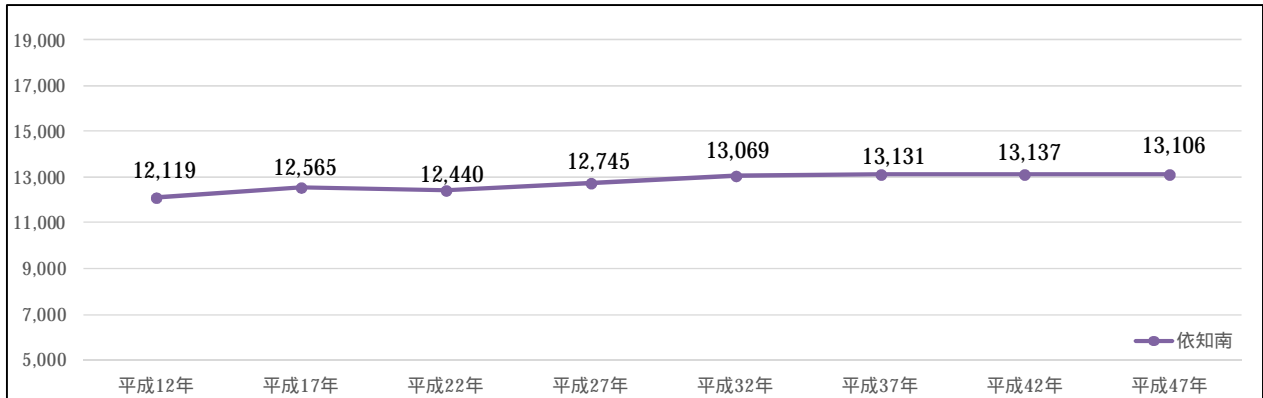


図 将来展望における依知南地区の人口ピラミッド



(5) 睦合北地区

睦合北	人口総数は10%以上減少する。老年人口割合は30%を超える。
	ア 平成27年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は10,649人となっている。 ➤ 年少人口割合は12.2%となっている。 ➤ 老年人口割合は22.8%となっている。
	イ 平成47年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は9,128人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は11.0%となり、市全体と比較して、-1.3ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は30.3%となり、市全体と比較して、+1.1ポイントとなることが見込まれる。
	ウ 平成27年と平成47年の比較 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は-14.3%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は-1.2ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+7.5ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における睦合北地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
睦合北	平成17年	10,856		1,606	14.8%	7,846	72.3%	1,404	12.9%
	平成22年	10,953		1,514	13.8%	7,537	68.8%	1,902	17.4%
	平成27年	10,649		1,298	12.2%	6,927	65.0%	2,424	22.8%
	順位								
	平成32年	10,452	-1.9%	1,170	11.2%	6,567	62.8%	2,715	26.0%
	平成37年	10,062	-5.5%	1,058	10.5%	6,274	62.4%	2,730	27.1%
	平成42年	9,612	-9.7%	1,005	10.5%	5,886	61.2%	2,721	28.3%
	平成47年	9,128	-14.3%	1,005	11.0%	5,356	58.7%	2,767	30.3%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における睦合北地区の人口推計

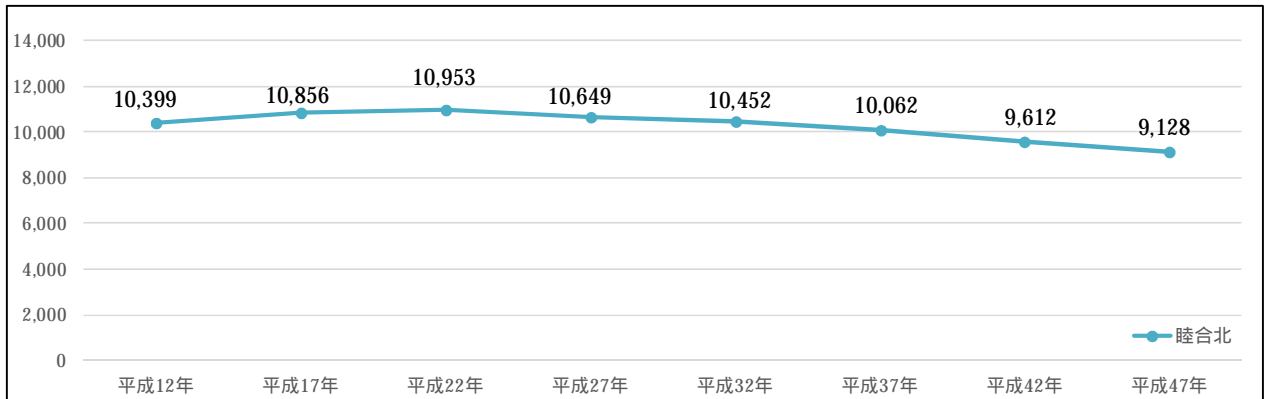
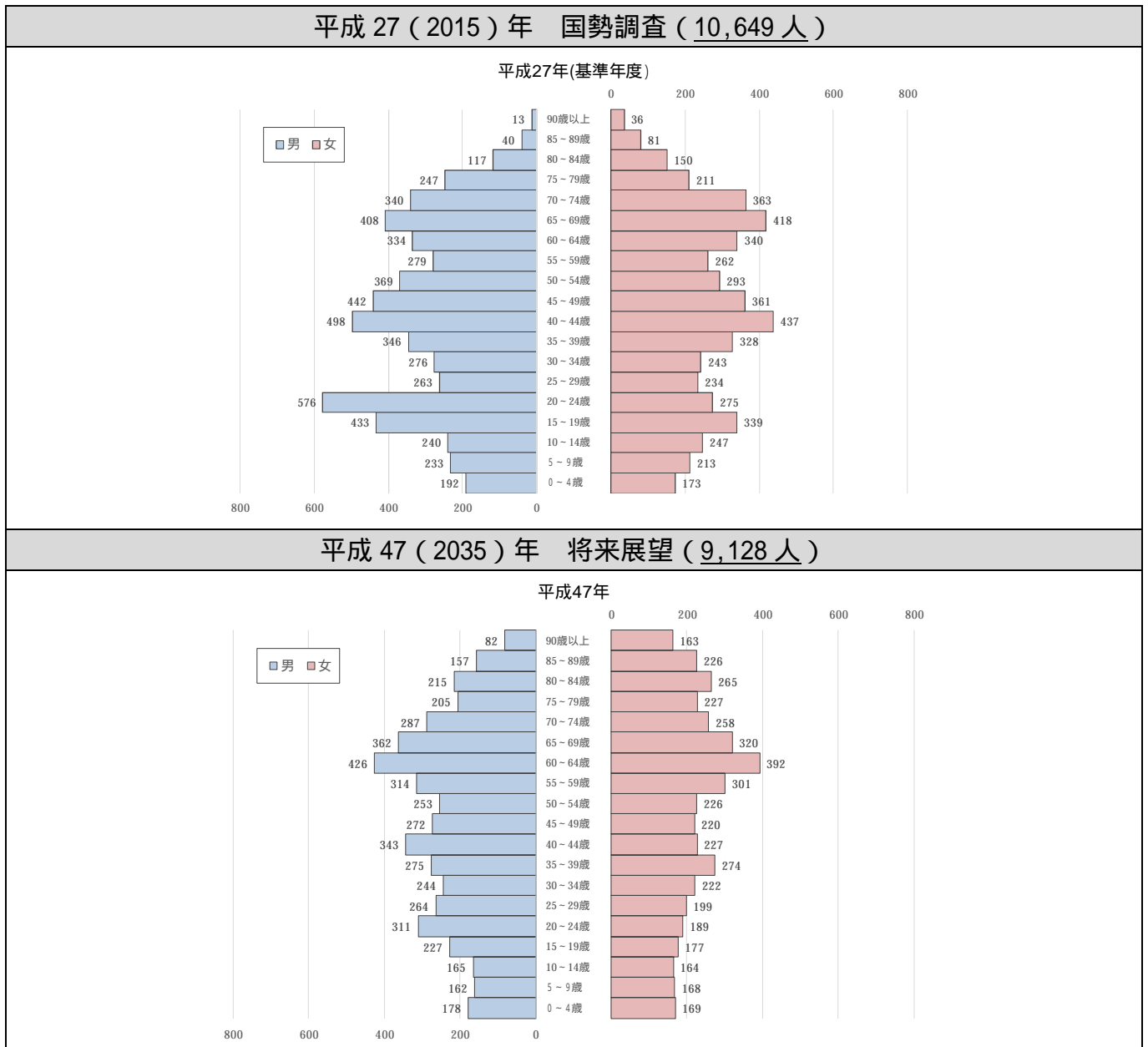


図 将来展望における睦合北地区の人口ピラミッド



(6) 睦合南地区

睦合南	年少人口割合は3番目に高い順位に上昇する(5/15位 3/15位)
	ア 平成27年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は19,830人となっている。 ➢ 年少人口割合は13.7%となっている。 ➢ 老年人口割合は15地区の中で2番目に低い20.8%となっている。
	イ 平成47年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は19,239人となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は13.7%となり、15地区の中で3番目に高い順位に上昇することが見込まれる。また、市全体と比較して、+1.4ポイントとなることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は27.7%となり、市全体と比較して、-1.5ポイントとなることが見込まれる。
	ウ 平成27年と平成47年の比較 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は-3.0%となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は同数値となることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は+6.9ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における睦合南地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
睦合南	平成17年	19,822		3,083	15.6%	14,328	72.3%	2,411	12.2%
	平成22年	19,621		2,800	14.3%	13,609	69.4%	3,212	16.4%
	平成27年	19,830		2,716	13.7%	12,985	65.5%	4,129	20.8%
	順位								
	平成32年	20,062	1.2%	2,667	13.3%	12,730	63.5%	4,665	23.3%
	平成37年	19,899	0.3%	2,633	13.2%	12,376	62.2%	4,890	24.6%
	平成42年	19,614	-1.1%	2,567	13.1%	11,967	61.0%	5,080	25.9%
	平成47年	19,239	-3.0%	2,636	13.7%	11,280	58.6%	5,323	27.7%
順位									
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における睦合南地区の人口推計

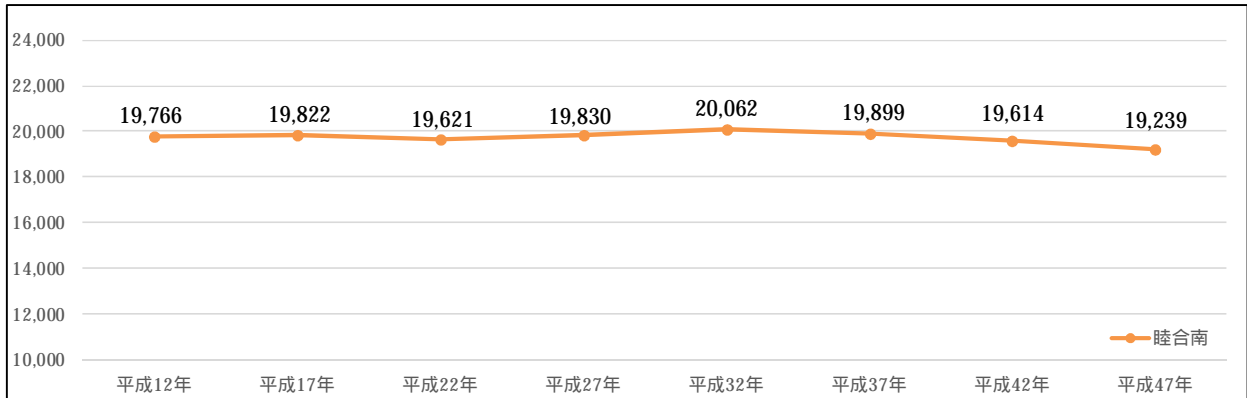
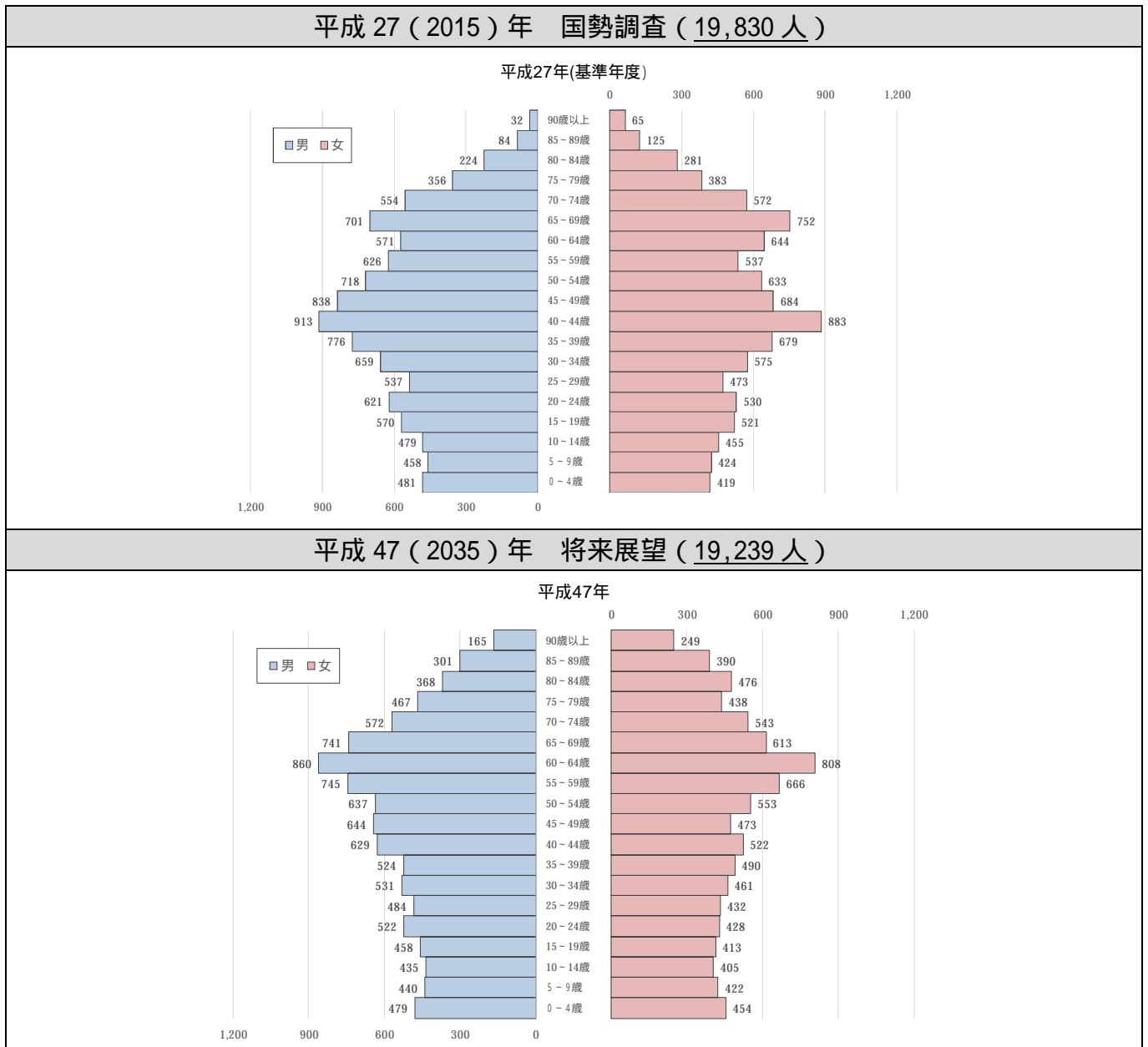


図 将来展望における睦合南地区の人口ピラミッド



(7) 睦合西地区

睦合西	年少人口割合はおおむね市と同じ割合に下降する（1/15位 5/15位）
	ア 平成27年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は10,023人となっている。 ➤ 年少人口割合は15地区の中で最も高い14.9%となっている。 ➤ 老年人口割合は22.1%となっている。
	イ 平成47年の人口 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は9,484人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は13.0%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合に下降することが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は27.5%となり、市全体と比較して、-1.7ポイントとなることが見込まれる。
	ウ 平成27年と平成47年の比較 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は-5.4%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は-1.9ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+5.4ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における睦合西地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
睦合西	平成17年	9,662		1,647	17.0%	6,761	70.0%	1,254	13.0%
	平成22年	10,041		1,674	16.7%	6,565	65.4%	1,802	17.9%
	平成27年	10,023		1,496	14.9%	6,308	62.9%	2,219	22.1%
	順位								
	平成32年	10,058	0.3%	1,331	13.2%	6,312	62.8%	2,415	24.0%
	平成37年	9,912	-1.1%	1,229	12.4%	6,248	63.0%	2,435	24.6%
	平成42年	9,715	-3.1%	1,198	12.3%	6,052	62.3%	2,465	25.4%
	平成47年	9,484	-5.4%	1,232	13.0%	5,641	59.5%	2,611	27.5%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における睦合西地区の人口推計

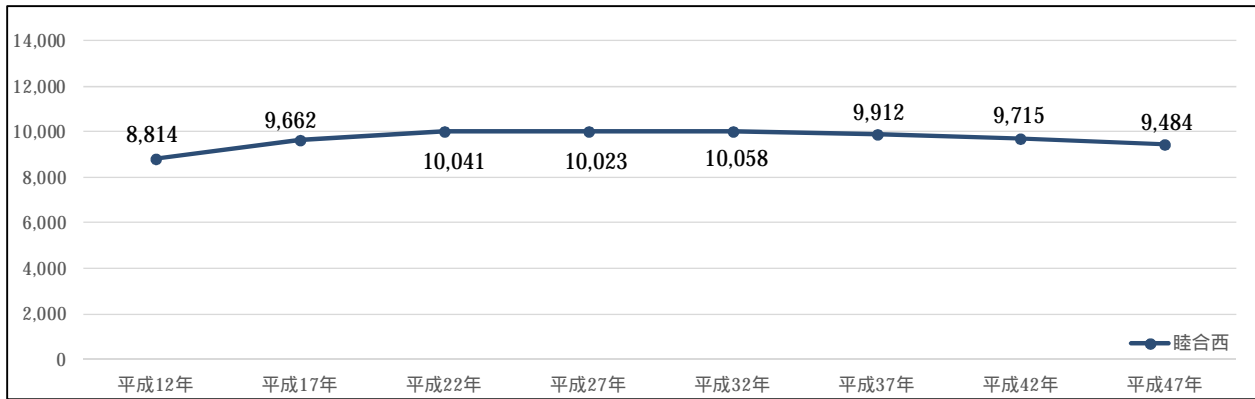
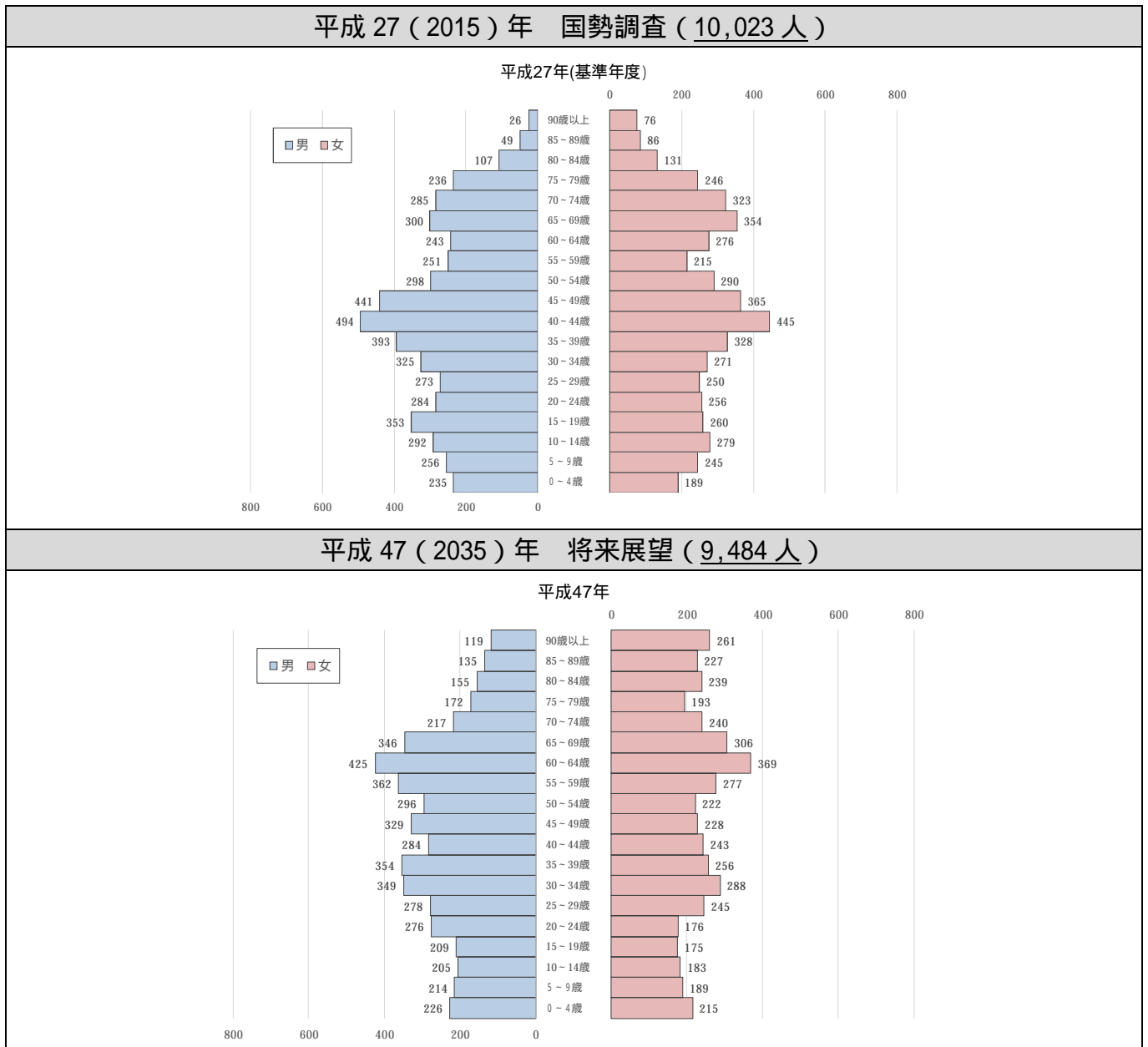


図 将来展望における睦合西地区の人口ピラミッド



(8) 荻野地区

荻野	人口総数は10%以上減少する。老年人口割合は30%を超える。	
	ア	平成27年の人口
	➤	人口総数は27,148人で、15地区の中で2番目に多い地区となっている。
	➤	年少人口割合は15地区の中で2番目に高い14.3%となっている。
	➤	老年人口割合は25.8%となっている。
	イ	平成47年の人口
	➤	人口総数は、23,358人で、15地区の中で3番目に多い地区に下降することが見込まれる。
	➤	年少人口割合は11.0%となり、市全体と比較して、-1.3ポイントとなるが見込まれる。
	➤	老年人口割合は30.8%となり、市全体と比較して、+1.6ポイントとなるが見込まれる。
	ウ	平成27年と平成47年の比較
➤	人口総数は-14.0%となるが見込まれる。	
➤	年少人口割合は-3.3ポイントとなるが見込まれる。	
➤	老年人口割合は+5.0ポイントとなるが見込まれる。	

表 将来展望における荻野地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
荻野	平成17年	26,312		3,753	14.3%	18,454	70.1%	4,105	15.6%
	平成22年	27,610		4,282	15.5%	17,739	64.2%	5,589	20.2%
	平成27年	27,148		3,878	14.3%	16,277	60.0%	6,993	25.8%
	順位								
	平成32年	26,437	-2.6%	3,128	11.8%	15,704	59.4%	7,605	28.8%
	平成37年	25,676	-5.4%	2,662	10.4%	15,572	60.6%	7,442	29.0%
	平成42年	24,574	-9.5%	2,554	10.4%	14,889	60.6%	7,131	29.0%
	平成47年	23,358	-14.0%	2,566	11.0%	13,600	58.2%	7,192	30.8%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における荻野地区の人口推計

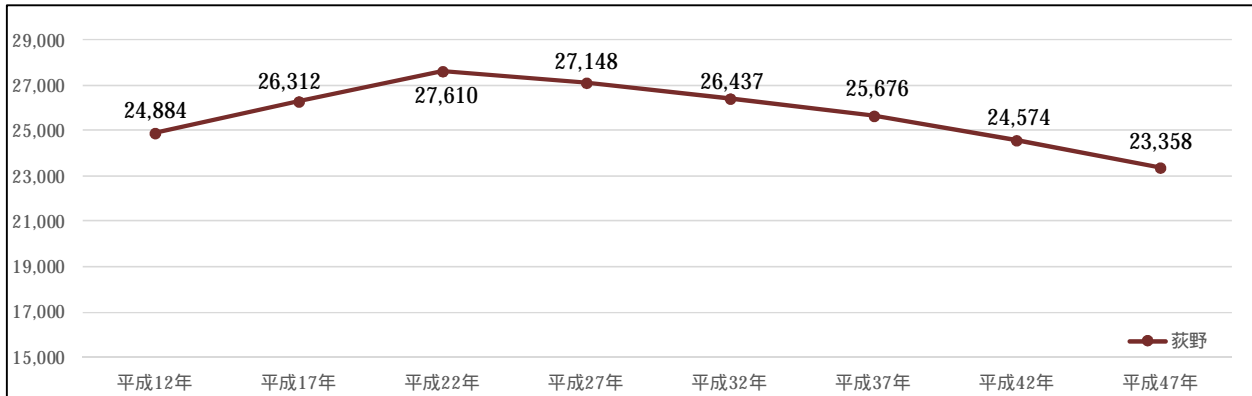
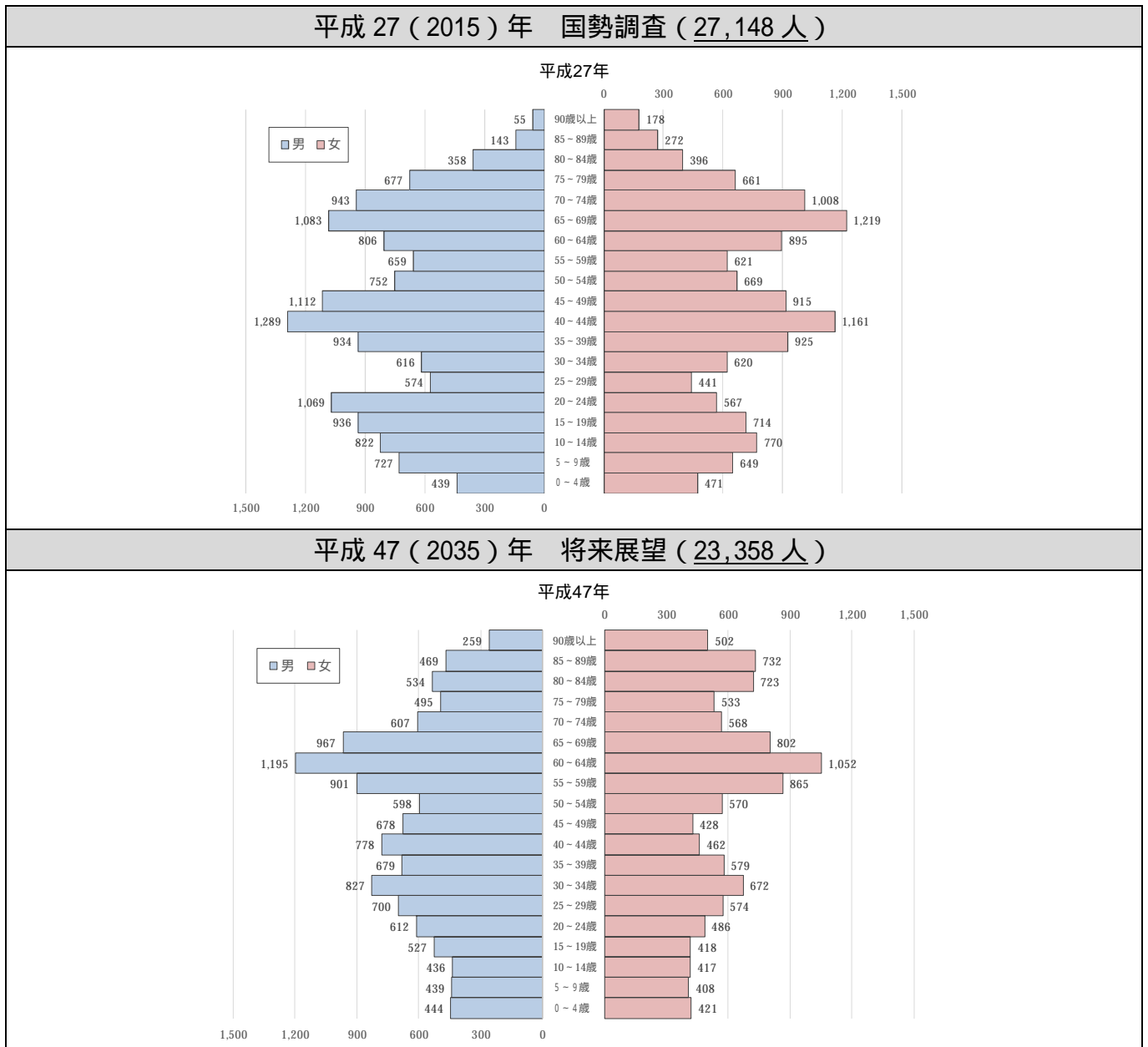


図 将来展望における荻野地区の人口ピラミッド



(9) 小鮎地区

小鮎	人口総数は20%以上減少する。年少人口割合は3番目に低い順位に下降する(11/15位 13/15位)。老年人口割合は35%を超える。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は14,749人となっている。 ➤ 年少人口割合は10.8%となっている。 ➤ 老年人口割合は26.7%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は11,608人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は9.2%となり、15地区の中で3番目に低い順位に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、-3.1ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は37.2%となり、市全体と比較して、+8.0ポイントとなることが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は-21.3%となり、15地区の中で3番目に大きい減少率となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は-1.6ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+10.5ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における小鮎地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
小鮎	平成17年	15,974		1,973	12.4%	11,672	73.1%	2,329	14.6%
	平成22年	15,590		1,819	11.7%	10,679	68.5%	3,092	19.8%
	平成27年	14,749		1,597	10.8%	9,211	62.5%	3,941	26.7%
	順位								
	平成32年	14,285	-3.1%	1,426	10.0%	8,329	58.3%	4,530	31.7%
	平成37年	13,492	-8.5%	1,234	9.1%	7,600	56.3%	4,658	34.5%
	平成42年	12,599	-14.6%	1,123	8.9%	6,945	55.1%	4,531	36.0%
	平成47年	11,608	-21.3%	1,065	9.2%	6,219	53.6%	4,324	37.3%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における小鮎地区の人口推計

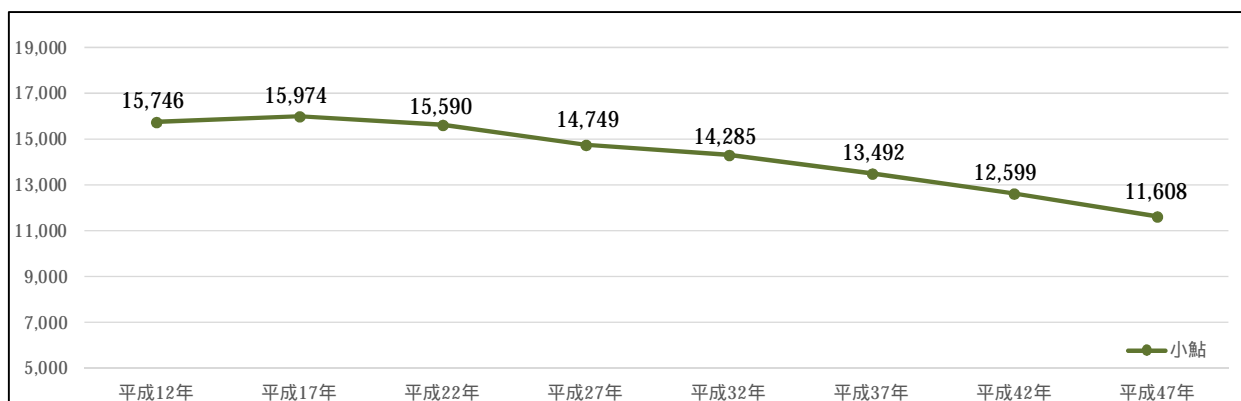
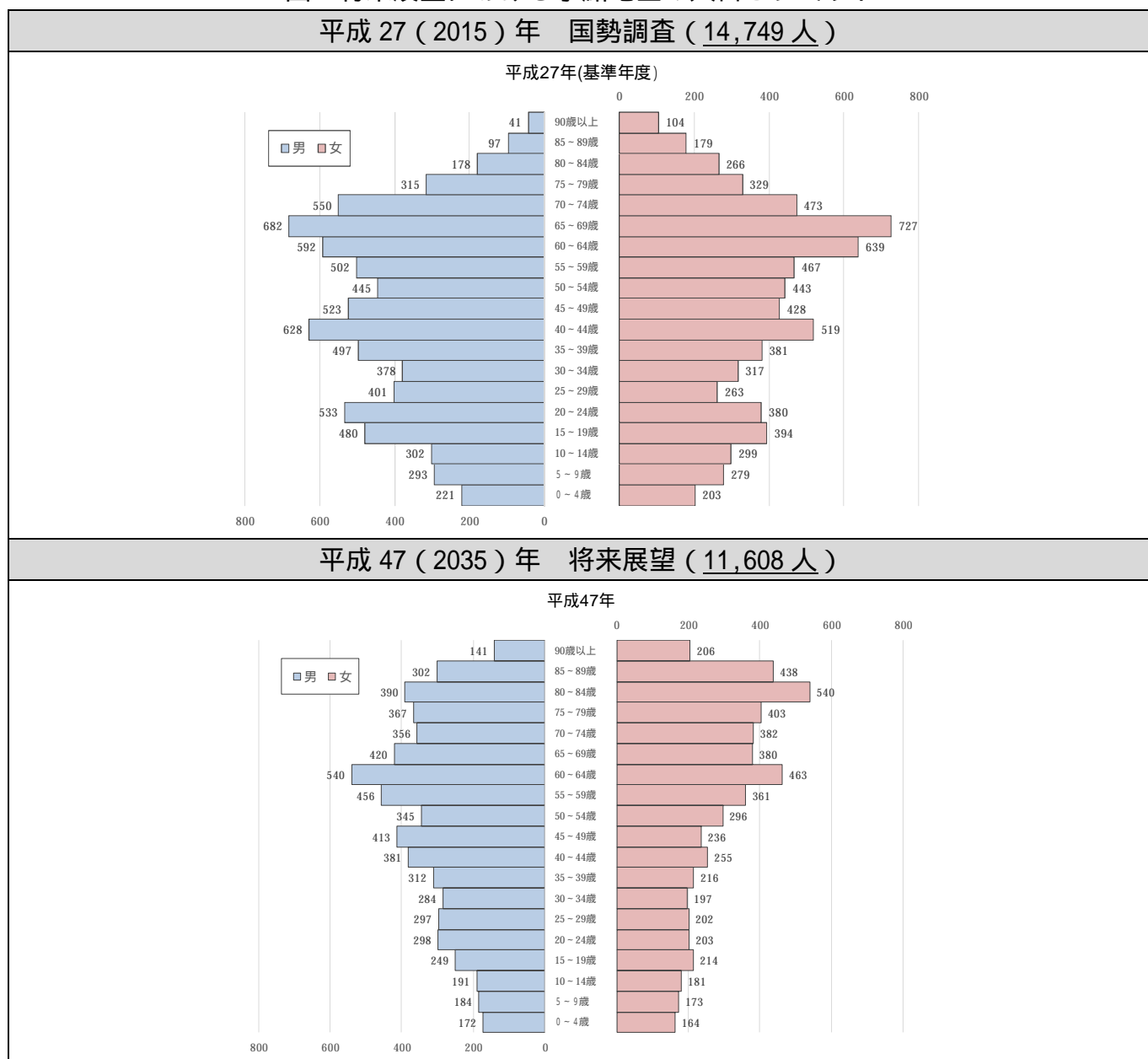


図 将来展望における小鮎地区の人口ピラミッド



(10) 玉川地区

玉川	人口総数は20%以上減少する。年少人口割合は2番目に低い順位に下降する(13/15位 14/15位)。老年人口割合は平成27年と同様に2番目に高い(2/15位 2/15位)。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は3,864人で、15地区の中で最も少ない地区となっている。 ➤ 年少人口割合は15地区の中で3番目に低い10.4%となっている。 ➤ 老年人口割合は15地区の中で2番目に高い32.3%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は2,988人で、平成27年と同様に最も少ない地区となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は7.9%となり、15地区の中で2番目に低い順位に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、-4.4ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は40.0%となり、平成27年と同様に15地区の中で2番目に高くなることが見込まれる。また、市全体と比較して、+10.8ポイントとなることが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は-22.7%となり、15地区の中で2番目に大きい減少率となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は-2.5ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+7.7ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における玉川地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
玉川	平成17年	4,222		540	12.8%	2,858	67.7%	823	19.5%
	平成22年	4,041		476	11.8%	2,497	61.8%	1,068	26.4%
	平成27年	3,864		402	10.4%	2,213	57.3%	1,249	32.3%
	順位								
	平成32年	3,707	-4.1%	317	8.6%	2,084	56.2%	1,306	35.2%
	平成37年	3,473	-10.1%	263	7.6%	1,926	55.5%	1,284	37.0%
	平成42年	3,235	-16.3%	243	7.5%	1,755	54.3%	1,237	38.2%
	平成47年	2,988	-22.7%	235	7.9%	1,558	52.1%	1,195	40.0%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における玉川地区の人口推計

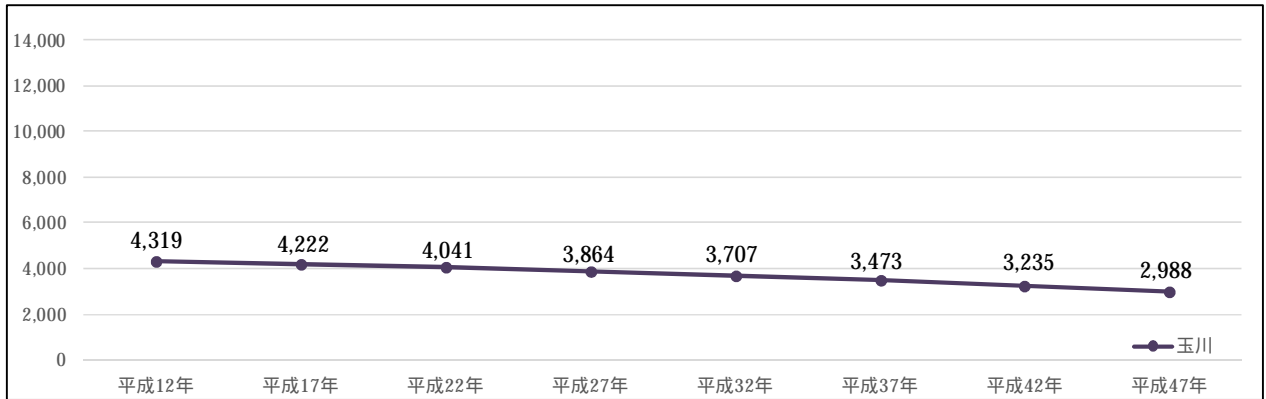
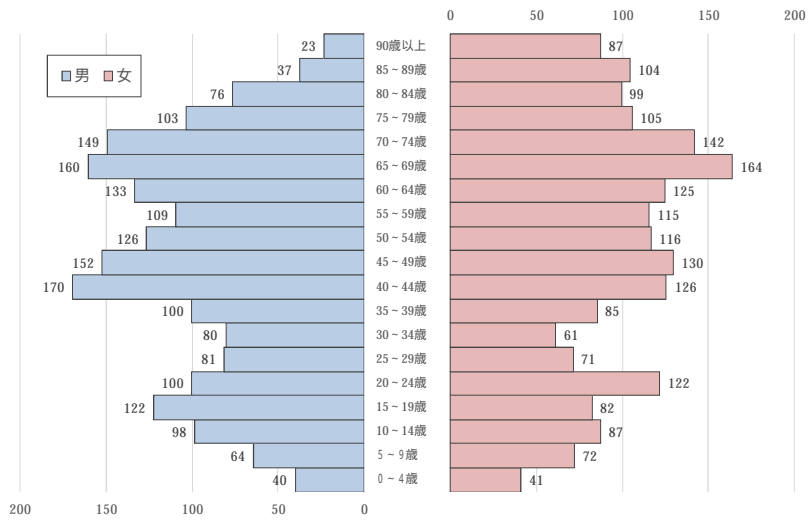


図 将来展望における玉川地区の人口ピラミッド

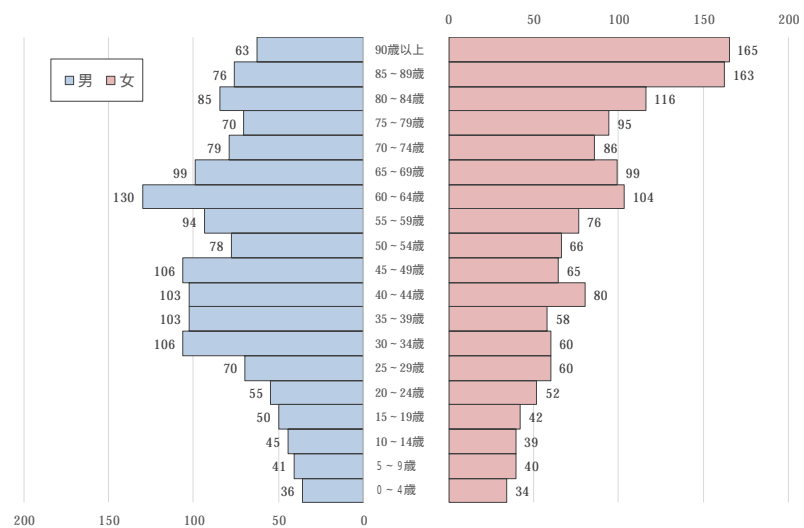
平成 27 (2015) 年 国勢調査 (3,864 人)

平成27年(基準年度)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (2,988 人)

平成47年



(11) 南毛利地区

南毛利	人口総数は増加する。年少人口割合は2番目に高い順位に上昇する(4/15位 2/15位)
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は39,075人で、15地区の中で最も多い地区となっている。 ➤ 年少人口割合は14.0%となっている。 ➤ 老年人口割合は15地区の中で3番目に低い21.0%となっている。
	<p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は41,950人で、平成27年と同様に最も多い地区となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は14.1%となり、15地区の中で2番目に高い順位に上昇することが見込まれる。また、市全体と比較して、+1.8ポイントとなることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は28.1%となり、市全体と比較して、-1.1ポイントとなることが見込まれる。
	<p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は+7.4%となり、15地区の中で2番目に大きい増加率となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は+7.1ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における南毛利地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
南毛利	平成17年	36,773		5,880	16.0%	26,244	71.4%	4,649	12.6%
	平成22年	37,681		5,680	15.1%	25,741	68.3%	6,259	16.6%
	平成27年	39,075		5,490	14.0%	25,394	65.0%	8,191	21.0%
	順位								
	平成32年	40,792	4.4%	5,523	13.5%	25,957	63.6%	9,312	22.8%
	平成37年	41,305	5.7%	5,577	13.5%	25,838	62.6%	9,890	23.9%
	平成42年	41,688	6.7%	5,590	13.4%	25,405	60.9%	10,693	25.6%
	平成47年	41,950	7.4%	5,924	14.1%	24,240	57.8%	11,786	28.1%
順位									
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における南毛利地区の人口推計

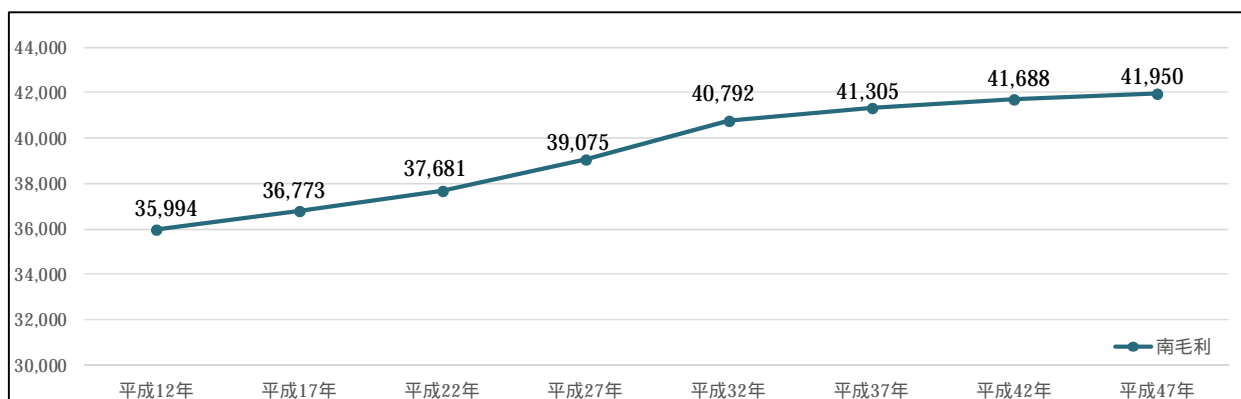
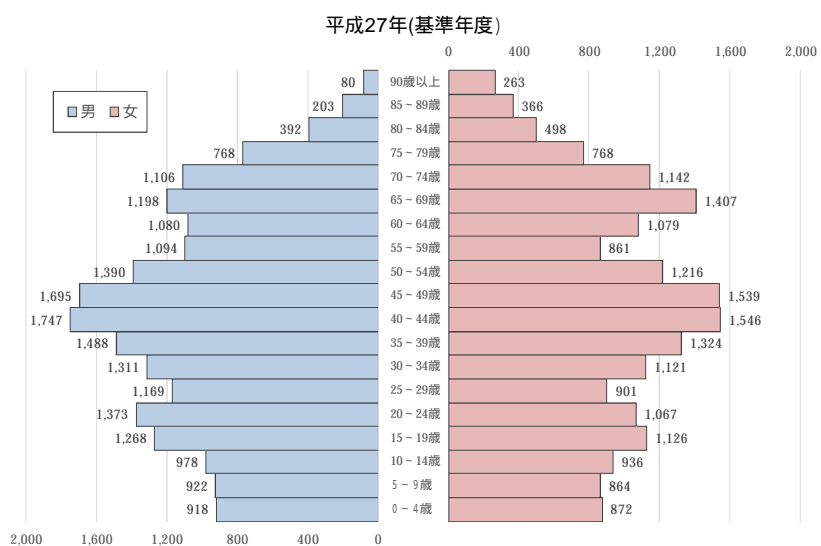
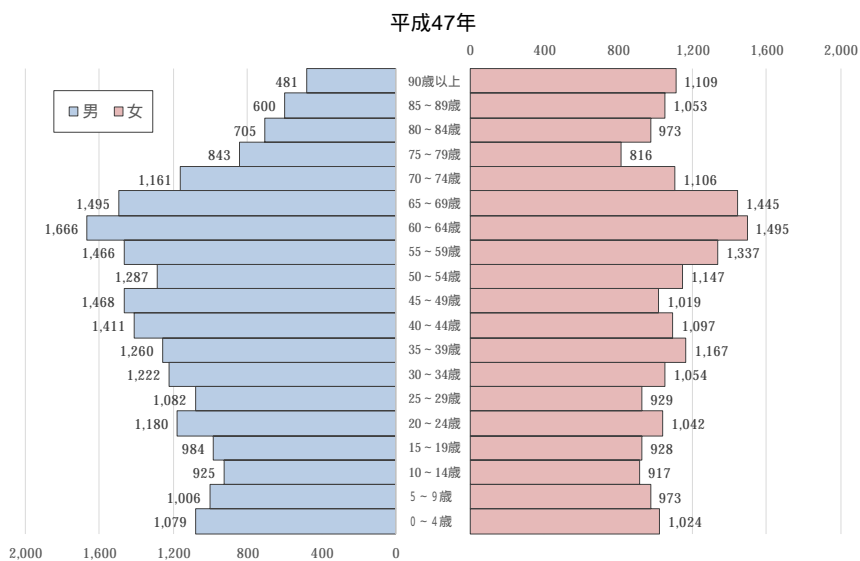


図 将来展望における南毛利地区の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (39,075 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (41,950 人)



(12) 相川地区

相川	年少人口割合、老年人口割合ともに平成 27 年と同様に市とおおむね同じ割合
	<p>ア 平成 27 年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 13,999 人となっている。 ➤ 年少人口割合は 13.2%となっている。 ➤ 老年人口割合は 22.0%となっている。 <p>イ 平成 47 年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は 13,357 人となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は 13.3%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は 28.5%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 <p>ウ 平成 27 年と平成 47 年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 人口総数は - 4.6%となることが見込まれる。 ➤ 年少人口割合は、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 ➤ 老年人口割合は + 6.5 ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における相川地区の年齢 3 区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
相川	平成17年	14,056		1,968	14.0%	10,399	74.0%	1,689	12.0%
	平成22年	13,989		1,902	13.6%	9,852	70.4%	2,235	16.0%
	平成27年	13,999		1,851	13.2%	9,067	64.8%	3,081	22.0%
	順位								
	平成32年	14,080	0.6%	1,791	12.7%	8,721	61.9%	3,568	25.3%
	平成37年	13,915	-0.6%	1,756	12.6%	8,501	61.1%	3,658	26.3%
	平成42年	13,669	-2.4%	1,725	12.6%	8,267	60.5%	3,677	26.9%
	平成47年	13,357	-4.6%	1,779	13.3%	7,777	58.2%	3,801	28.5%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における相川地区の人口推計

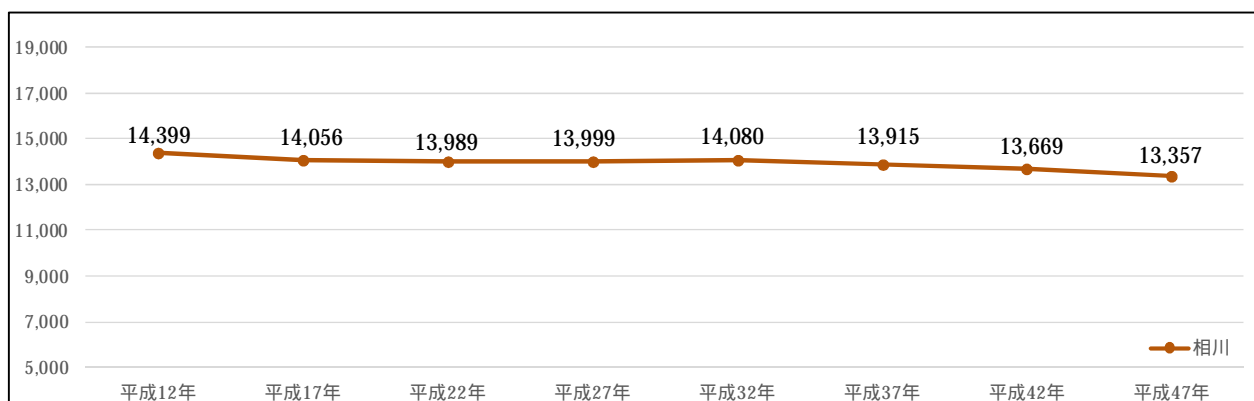
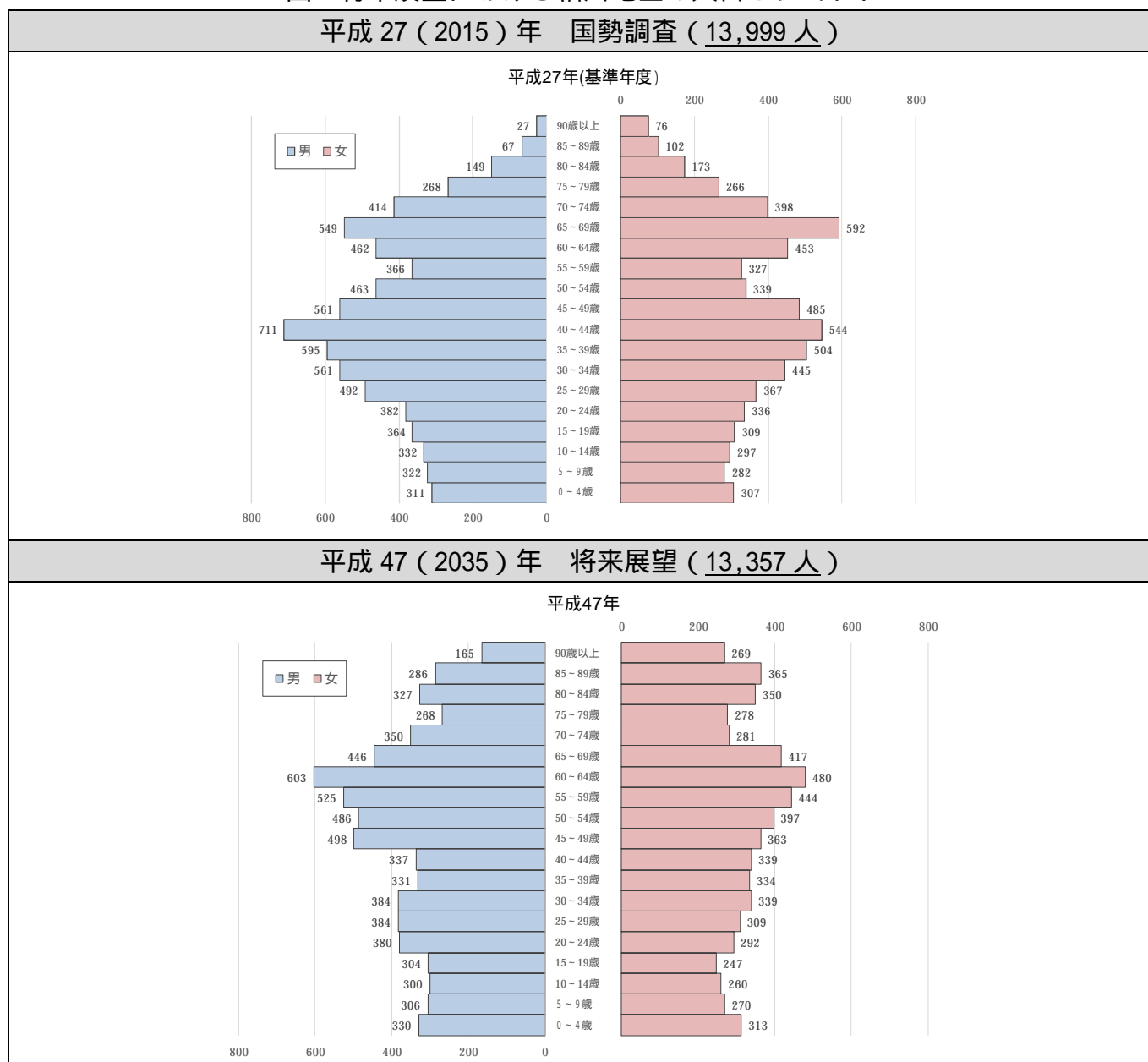


図 将来展望における相川地区の人口ピラミッド



(13) 緑ヶ丘地区

緑ヶ丘	人口総数は30%以上減少する。老年人口割合は3番目に高い順位に下降する(1/15位 3/15位)。年少人口割合は上昇する。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は4,406人で、15地区の中で2番目に少ない地区となっている。 ➢ 年少人口割合は10.7%となっている。 ➢ 老年人口割合は15地区の中で最も高い33.2%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は3,042人で、平成27年と同様に15地区の中で2番目に少なくなることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は12.4%となり、市全体と比較して、おおむね同じ割合に上昇することが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は38.9%となり、15地区の中で3番目に高い地区に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、+9.7ポイントとなること見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は-31.0%となり、15地区の中で最も大きい減少率となること見込まれる。 ➢ 年少人口割合は+1.7ポイントとなること見込まれる。 ➢ 老年人口割合は+5.7ポイントとなること見込まれる。

表 将来展望における緑ヶ丘地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
緑ヶ丘	平成17年	5,528		680	12.3%	3,739	67.6%	1,109	20.1%
	平成22年	4,905		498	10.2%	3,092	63.0%	1,315	26.8%
	平成27年	4,406		470	10.7%	2,474	56.2%	1,462	33.2%
	順位								
	平成32年	4,162	-5.5%	468	11.2%	2,181	52.4%	1,513	36.4%
	平成37年	3,781	-14.2%	429	11.3%	1,923	50.9%	1,429	37.8%
	平成42年	3,399	-22.9%	393	11.6%	1,700	50.0%	1,306	38.4%
	平成47年	3,042	-31.0%	377	12.4%	1,480	48.7%	1,185	39.0%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における緑ヶ丘地区の人口推計

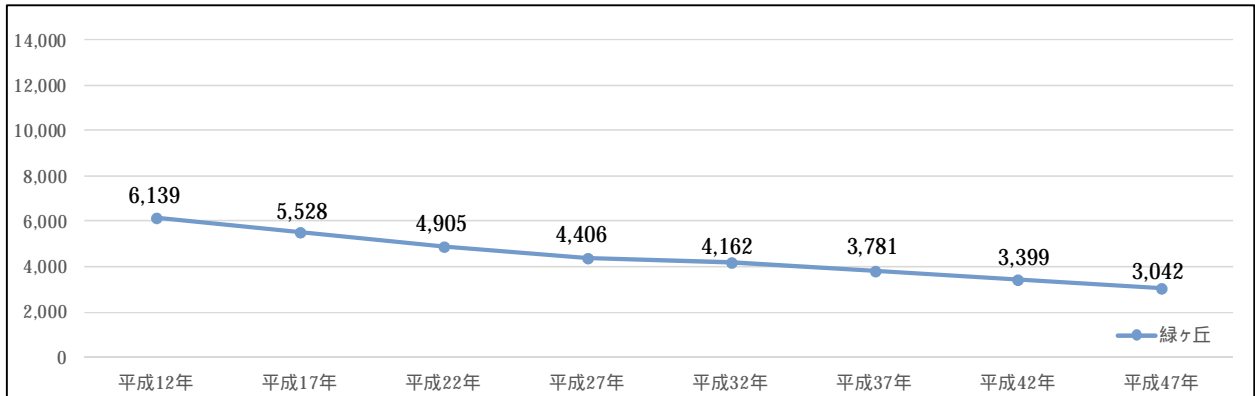
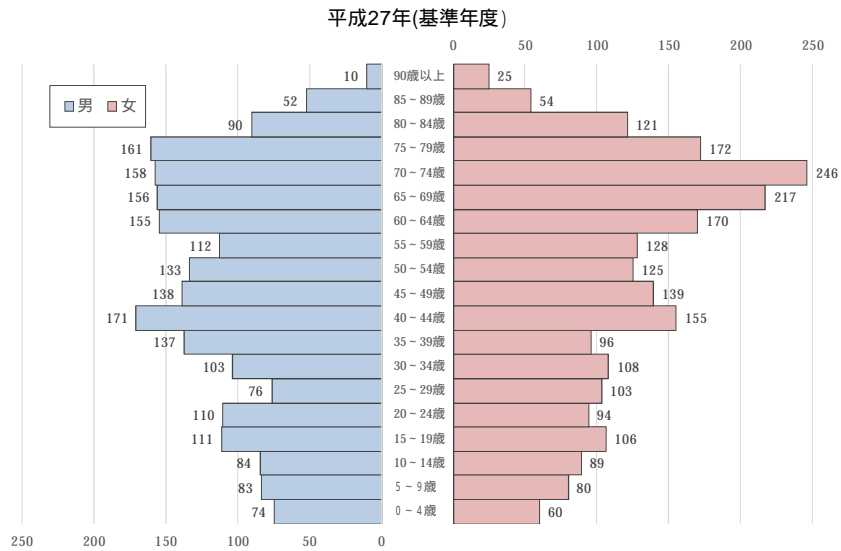
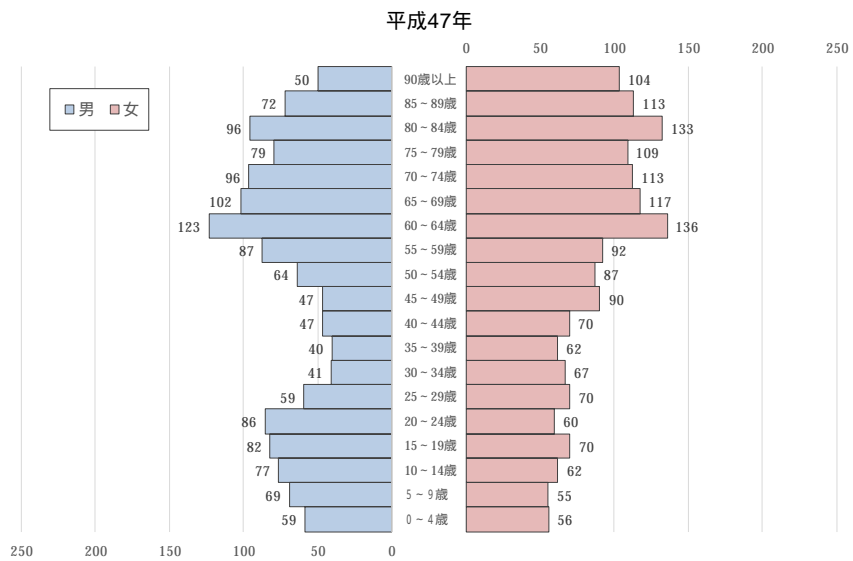


図 将来展望における緑ヶ丘地区の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (4,406 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (3,042 人)



(14) 南毛利南地区

南毛利南	老年人口割合が3番目に低い順位に下降する(6/15位 13/15位)
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は11,118人となっている。 ➢ 年少人口割合は11.4%となっている。 ➢ 老年人口割合は23.4%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は10,930人となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は10.7%となり、市全体と比較して、-1.6ポイントとなることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は26.8%となり、15地区の中で3番目に低い順位に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、-2.4ポイントとなることが見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は-1.7%となることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は、おおむね同じ割合となることが見込まれる。 ➢ 老年人口割合は+3.4ポイントとなることが見込まれる。

表 将来展望における南毛利南地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
南毛利南	平成17年	10,737		1,308	12.2%	7,648	71.2%	1,781	16.6%
	平成22年	10,972		1,350	12.3%	7,460	68.0%	2,162	19.7%
	平成27年	11,118		1,273	11.4%	7,242	65.1%	2,603	23.4%
	順位								
	平成32年	11,449	3.0%	1,268	11.1%	7,350	64.2%	2,831	24.7%
	平成37年	11,337	2.0%	1,204	10.6%	7,273	64.2%	2,860	25.2%
	平成42年	11,153	0.3%	1,162	10.4%	7,166	64.3%	2,825	25.3%
	平成47年	10,930	-1.7%	1,173	10.7%	6,827	62.5%	2,930	26.8%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における南毛利南地区の人口推計

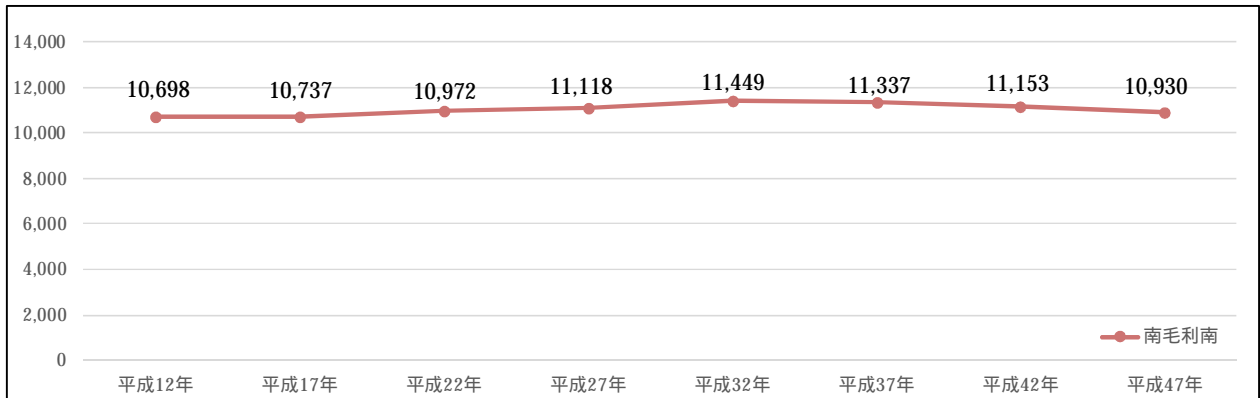
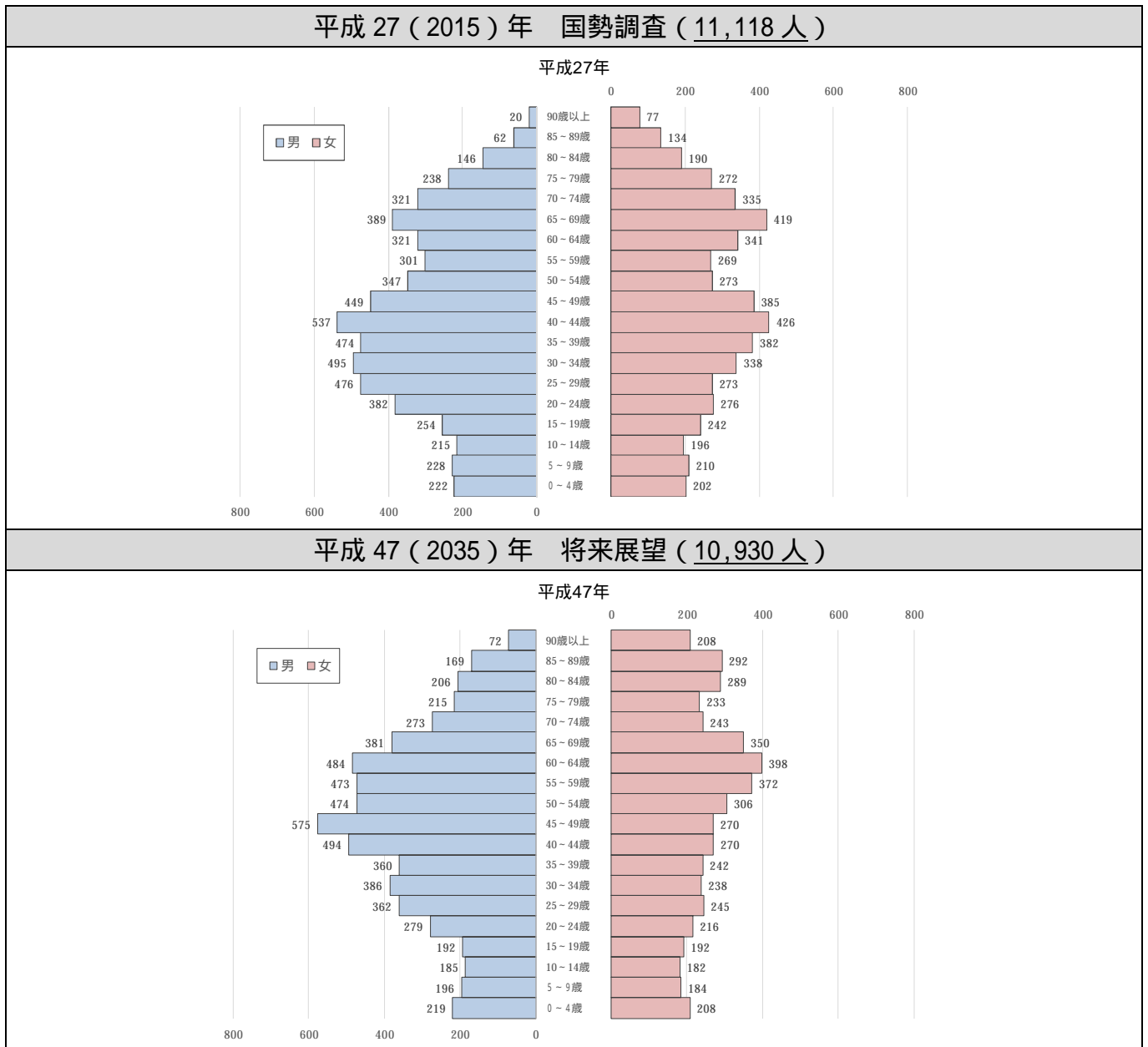


図 将来展望における南毛利南地区の人口ピラミッド



(15) 森の里地区

森の里	人口総数は15%以上減少する。年少人口割合は最も低い順位に下降する(14/15位 15/15位)、老年人口割合は最も高い順位に上昇する(3/15位 1/15位)。
	<p>ア 平成27年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は6,436人で、15地区の中で3番目に少ない地区となっている。 ➢ 年少人口割合は15地区の中で2番目に低い9.7%となっている。 ➢ 老年人口割合は15地区の中で3番目に高い28.6%となっている。 <p>イ 平成47年の人口</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は5,457人で、平成27年と同様に15地区の中で3番目に少なくなることが見込まれる。 ➢ 年少人口割合は5.7%となり、15地区の中で最も低い順位に下降することが見込まれる。また、市全体と比較して、-6.6ポイントとなること見込まれる。 ➢ 老年人口割合は59.4%となり、15地区の中で最も高い順位に上昇することが見込まれる。また、市全体と比較して、+30.2ポイントとなること見込まれる。 <p>ウ 平成27年と平成47年の比較</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 人口総数は-15.2%となること見込まれる。 ➢ 年少人口割合は-4.0ポイントとなること見込まれる。 ➢ 老年人口割合は+30.8ポイントとなること見込まれる。

表 将来展望における森の里地区の年齢3区分別人口

地域	年次	人口総数	対H27比	年少人口		生産年齢人口		老年人口	
森の里	平成17年	7,303		1,046	14.3%	5,516	75.5%	741	10.1%
	平成22年	6,807		793	11.6%	5,017	73.7%	997	14.6%
	平成27年	6,436		627	9.7%	3,971	61.7%	1,838	28.6%
	順位								
	平成32年	6,326	-1.7%	510	8.1%	3,263	51.6%	2,553	40.4%
	平成37年	6,100	-5.2%	408	6.7%	2,678	43.9%	3,014	49.4%
	平成42年	5,845	-9.2%	350	6.0%	2,265	38.8%	3,230	55.3%
	平成47年	5,457	-15.2%	312	5.7%	1,905	34.9%	3,240	59.4%
	順位								
厚木市	平成17年	222,403		31,474	14.2%	160,262	72.1%	30,667	13.8%
	平成22年	224,420		30,828	13.7%	153,269	68.3%	40,323	18.0%
	平成27年	225,714		29,064	12.9%	144,963	64.2%	51,687	22.9%
	平成32年	229,113	1.5%	27,675	12.1%	143,075	62.4%	58,363	25.5%
	平成37年	227,280	0.7%	26,500	11.7%	140,422	61.8%	60,358	26.6%
	平成42年	224,270	-0.6%	26,092	11.6%	136,593	60.9%	61,585	27.5%
	平成47年	220,427	-2.3%	27,031	12.3%	129,111	58.6%	64,285	29.2%

図 将来展望における森の里地区の人口推計

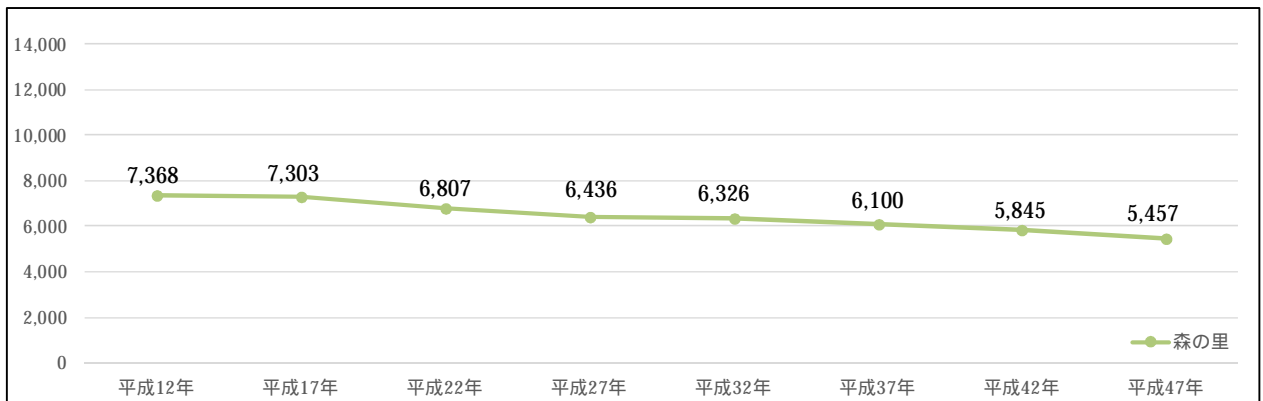
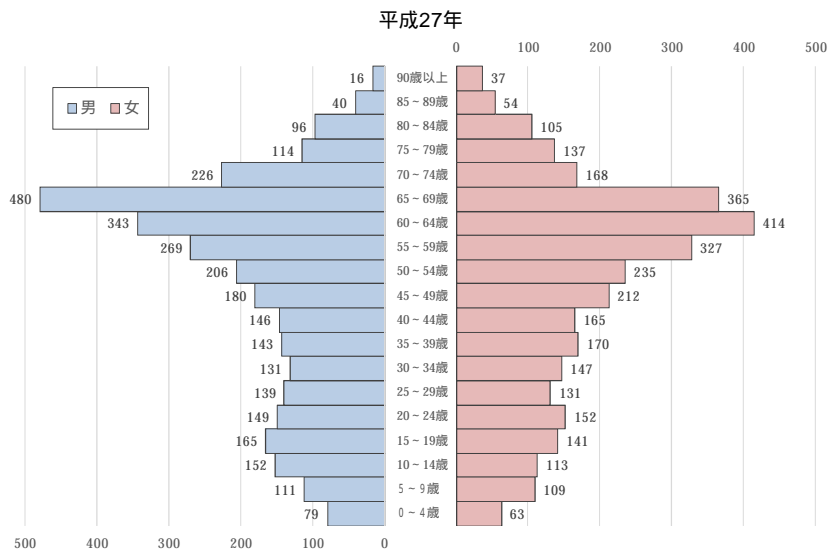


図 将来展望における森の里地区の人口ピラミッド

平成 27 (2015) 年 国勢調査 (6,436 人)



平成 47 (2035) 年 将来展望 (5,457 人)

